

山口がもっと好きになる情報誌



Sight Yamaguchi vol.10 2018

山口市はなぜ、
明治維新の策源地と
いわれるのか？

250年前の江戸時代に描かれた絵図と
150年前の幕末頃に描かれた絵図と
2つの絵図を用いて、策源地とは何か
なぜ山口市が明治維新の策源地といわれるのか。
そのヒミツを解き明かしていきます！



新しい世の
実現のため
ますます
励もうぞ！

敬親様は
日本一の
殿様よのゝ



CONTENTS

■明治維新150年特集

- ・ 絵図で読み解く 明治維新の策源地・山口
- ・ 食べてみたくなる？山口ゆかりの幕末の食
AKB48チーム8&STU48
- ・ 明治維新の策源地 山口に行ってみたよ♡
- ・ アート維新！ YCAM15周年
- ・ マンガで読む幕末エピソード

CONTENTS

■巻頭特集
 絵図で読み解く
 明治維新の策源地・山口

- ・ 絵図で見る250年前の山口の町 p.2
- ・ 150年前の山口市街の絵図 p.4
- ・ 策源地歴史年表 p.10
- ・ 毛利敬親展のご案内 p.12
- ・ 2018年秋オープン施設のご案内 p.14
- ・ 維新ゆかりの湯 湯田温泉 p.16

■特集2
 写真で綴る 策源地の四季 p.18

■特集3
 食べてみたくなる?
 山口ゆかりの幕末の食 p.30

■特集4
 AKB48チーム8 & STU48
 みう・ひなびよ・ゆみりんの
 明治維新の策源地
 山口に行ってみたよ♡ p.36

■特集5
 アート維新! YCAM15周年 p.39

■マンガで読む幕末エピソード

- その1「藩主敬親公、掛け軸を我慢するの巻」 p.26
- その2「京の民は長州びいき。お菓子でこっそり応援するの巻」 p.34

■彩都山口“旬”情報 p.46

- ・ JR新山口駅北口グランドオープン
- ・ UJIターンのご案内
- ・ 好評です。地酒・文豪セット
- ・ レノファ山口 ホームゲーム情報
- ・ 山口ゆめ花博のご案内
- ・ ふるさと納税のご案内

絵図で読み解く 明治維新の 策源地・山口

山口市はなぜ明治維新の策源地と言われるのか。策源地とはいったい何なのか。250年前の江戸時代に描かれた絵図と、150年前の幕末に描かれた絵図を用いて、山口という町の過去にさかのぼり、時代とともに姿を変えてきた策源地・山口を読み解いていきます。



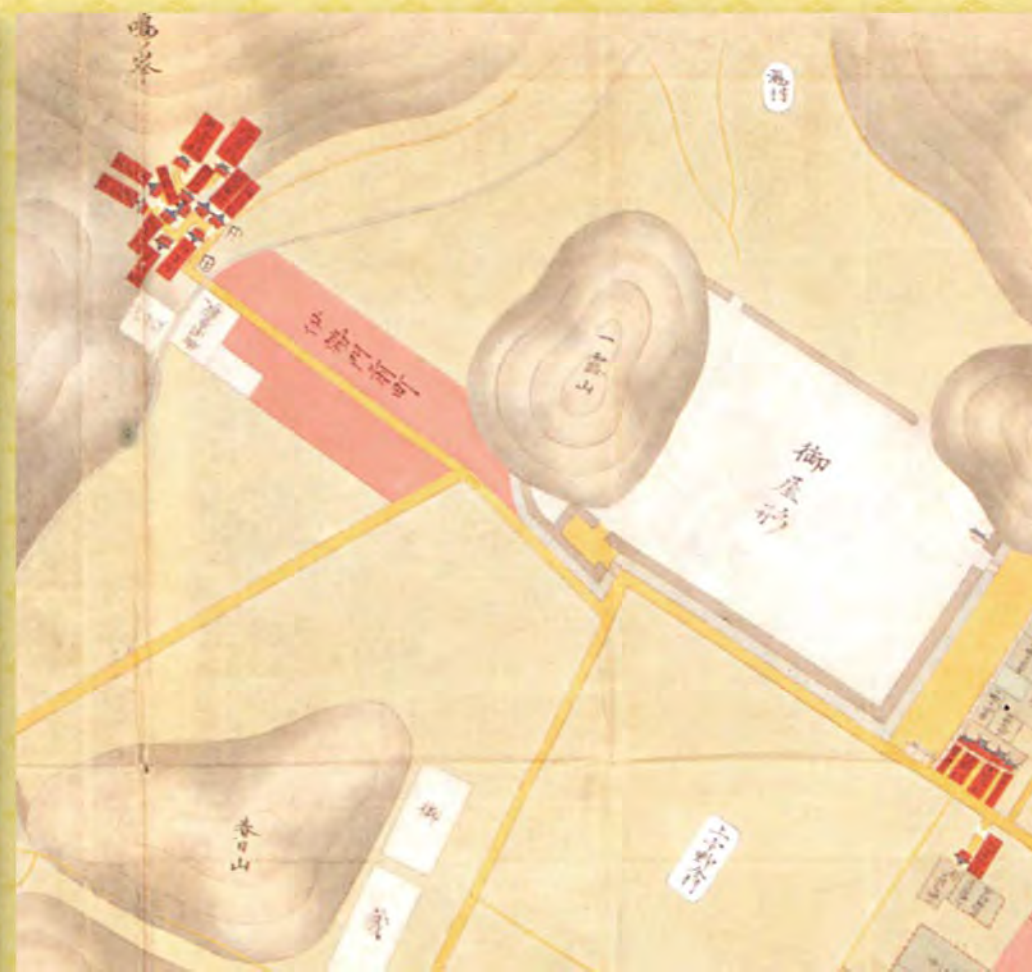
【策源地案内人】
 やまがuchi のりお
 山田 稔 先生

山口県立山口博物館学芸課長。山口県史編さん室専門研究員、山口県文書館専門研究員等を経て現職。現在、山口県史編さん執筆委員・調査委員、山口県立大学非常勤講師なども務める。専門は日本近世史・地図史。絵図関係の著書に、『絵図で見る萩の街道―萩往還・石州街道・赤間関街道―』（萩ものがたり第31集）『絵図学入門』（共著・東京大学出版会）など。



150th Anniversary The Meiji Restoration

Yamaguchi City



□プレゼントクイズ

「彩都山口」のweb版は、コチラから。
<http://sight-yamaguchi.jp/>

彩都山口 検索



明治終りか大正頃と思われる重ね岩(写真左*)と現在(写真右)の同地。行程記には、この岩が山口の内と外との地理的・空間的な境界との記載が。町境なので悪いものが入ってこないように空間を仕切る意味でこの岩が置かれたのかもしれない

この絵図から百年後。
萩から藩庁が運ってきて
山口の町はどう変わったのでしょうか。



「行程記」山口県文書館蔵



象頭山山頂より湯田方面(写真左*)と古熊・宮野方面(写真右*)を臨む(いずれも昭和初期頃)。民家が少なく湯田の手前まで田畑が広がっています

SPOT GUIDE
重ね岩・鰐石橋
当時の山口の町の南北の範囲は、木町橋から鰐石橋まで。この重ね岩のある鰐石橋のところが町の南の境でした。

絵図を180度回転して
見てみると「中市町」「大市町」と読めます

SPOT GUIDE
「大市町」「中市町」
今も残る町の名

行程記の中に記載されている「大市町」「中市町」「米や(屋)町」などの地名。当時と町割りやほとんど変わっていない山口では、現在もその多くが町名や地名として使われています。町歩きの際、絵図と町名看板を見比べてみると面白いですよ。

SPOT GUIDE
象頭山(長者山)
今も昔も策源地を一望!

鰐石橋のたもとにある標高90メートル余の小さな山。「行程記」には「長者山」の名で記載。象頭山の山頂からは、山口の市街地から萩往還で越えていく山並みまでが一望できます。高い建造物がなかった時代には、絶好の物見ポイントだったのではないのでしょうか。近年、地域の有志の皆さんにより道と山頂が整備され、普段着のままの軽装で登れるようになっています。ここから「策源地」を一望し、往時に思いをはせてみるのもオススメです。

この絵図は、「行程記」という山口県文書館所蔵の江戸時代の街道絵図に載っているものです。「行程記」は今からおよそ250年前の江戸時代の中頃に、長州藩絵図方によって制作されました。萩往還をはじめ、山陽道、東海道など萩から江戸までの主要な街道を描いた長大なもので全23帖(冊)。長い紙を折り畳むような形で作られていて全部をつなげるとその長さは100メートル以上に。ここに掲載しているのはその一部、木町橋から鰐石橋までの山口部分です。また、この絵図は上りと下りの道筋をそれぞれ逆方向に描かれています。下の文字が逆向きに描かれています。

この絵図は何? いつ頃描かれたものなの?



絵図で見る
250年前
の山口の町

**参勤交代に使われる街道沿いの
静かな宿場町だった山口**
江戸時代のほとんど、山口は山城のあった萩と江戸をつなぐ御成道「萩往還」沿いの宿場町にすぎませんでした。萩のお城を出発したお殿様は山口で一泊し、翌日港のある防府の三田尻へ。まずは250年前に作られた絵図で、宿場町だった頃の山口の町の様子を見てみましょう。

これが行程記。一冊の表紙の大きさは縦約28cm、横約15cmほど*



真ん中にひとさわ
大きく描かれている
この建物は何か?

これは、**山口御茶屋**です。「御茶屋」とは、藩主の宿泊や要人の接待などに使われる藩の公館で、参勤交代に使われた「御成道」の萩往還には、佐々並、山口、三田尻の3ヶ所に設けられていました。山口御茶屋は3つの御茶屋のうち2番目の規模で、長期滞在や遊興などが行える別荘的な機能を備えていたようです。文久3年(1863)、湯田温泉への日帰りの湯治という名目で萩を発った藩主・毛利敬親は山口御茶屋に入り、政事堂を置いて山口を藩政の中心地としました。その後、敬親公は山口御茶屋が完成するまではここで起居していました。

8ページ上の
記事も見てね!

150年前の山口市街 絵図

この絵図は、いつ頃の山口を描いたものなの？

前ページの絵図の100年ほど後の明治元年(1868)頃、幕末の藩庁移転後の山口の町を描いたものなんですよ。

2つの絵図を見比べて町の変化を見てみよう

前ページとこのページの絵図。2つを町の南北の境界にあたる「木町橋」と「鰐石橋」を起点にして比べてみると、いろいろ面白いことに気づきます。

まず、100年たっても変わっていないものは？ 町の道筋として絵図中央に大きく「御茶屋」が描かれていること。「中市町」や「大市町」「米屋町」など絵図に記された町名、神社仏閣の位置も同じものが多い。また、山口のシンボル、瑠璃光寺五重塔は両方に描かれています。

では、新しく加わったのは？ 幕末の絵図で白いスペース、中央右上の「御屋形」、中央の「御茶屋」に隣接した「兵学講(寮)」「明倫館」、左下にある「御客屋」。これらは100年前の町にはなかったもの。新たに加わったものは、策源地にゆかりの深いものと考えられますね。では、探っていきましょう。

SPOT GUIDE 旧山口藩庁門

お城は萩にあったのに、藩庁門が山口にあるのはなぜ？

幕末の文久3年(1863)、藩主毛利敬親が藩の政治の中心地を城のあった萩から山口に遷したからです(山口移鎮)。当初、敬親公は山口御茶屋に政事堂を置いて政務を執っていましたが、慶応2年(1866)には、政治の拠点となる山口御屋形が竣工し、入居しました。現在残る門は明治4年(1871)の廃藩置県まで山口藩庁の本門として使用されたものです。



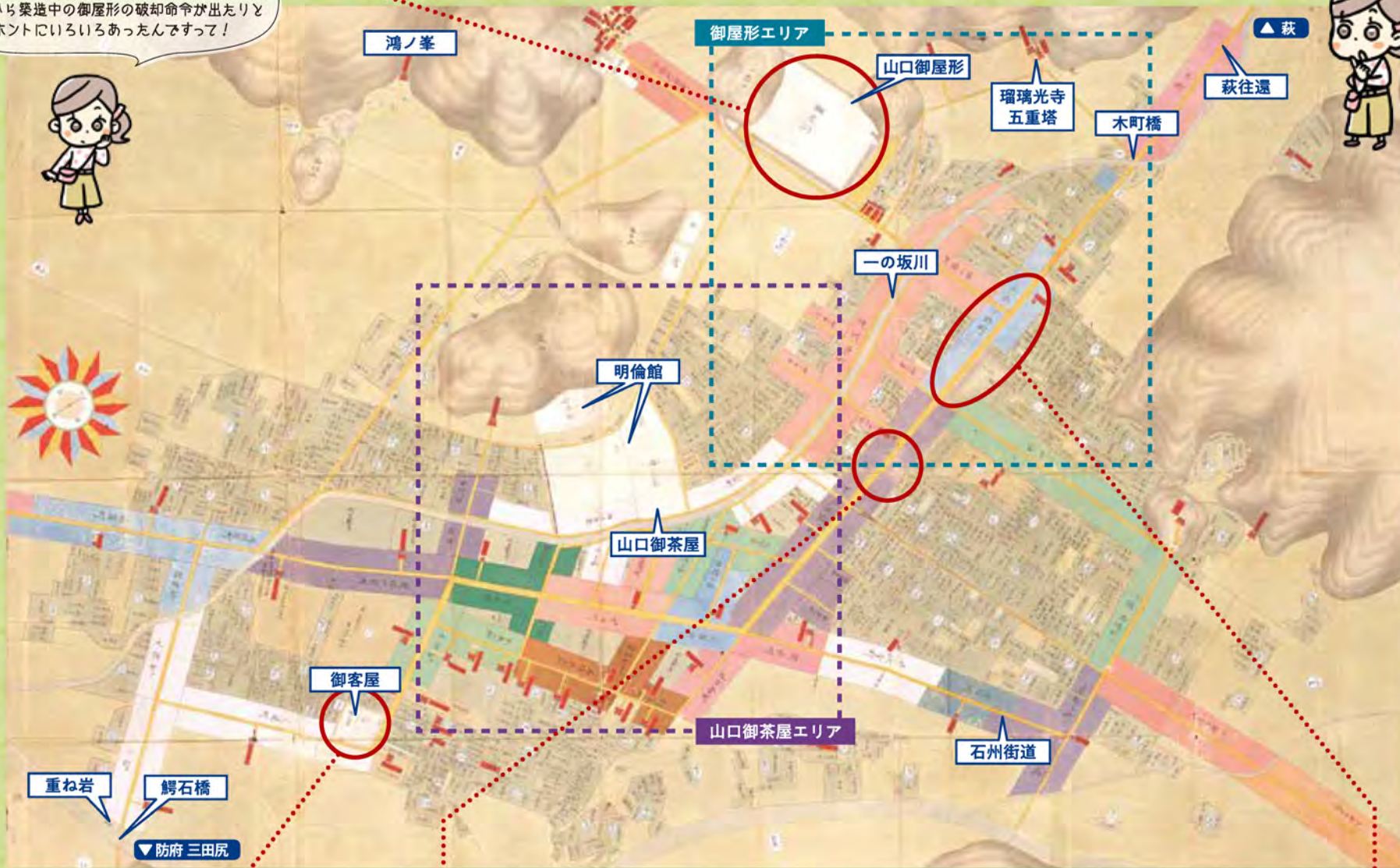
慶応2年の入居までには、政事堂が山口からまた萩に戻ったり、幕府から築造中の御屋形の破却命令が出たりとホントにいろいろあったんですって！

どうして山口に藩庁を移したの？

表向きの理由は、外国船の攻撃から国を守る「海防」、海沿いの萩ではなく内陸部の山口から指揮するためとなっています。しかし、ここにはやはり藩内旧勢力の多い萩から瀬戸内側に政治の拠点を移えようという維新を実現したい新勢力側の意図があったと考えられます。また、前ページの「行程記」の絵図に見られるように、山口には御茶屋などの拠点がすでにあり、藩主とともに家臣が移ってきても受け入れられる程度の都市機能が町に備わっていたこと、石州街道と萩往還が交わり防長の交通の要衝にあったことも大きかったのではないのでしょうか。

なぜ、山口は幕末に明治維新の策源地となったのか？

「策源地」とは何ぞや？ 辞書によると、戦闘の前線に必要な物資を供給する後方基地のこと。なぜ、街道沿いの宿場町にすぎなかった山口が「明治維新の策源地」といわれるようになったのか。宿場町だった頃の町と幕末頃の町、二つの絵図を見比べながらそのヒミツを探っていきましょう。



藩庁門を見る時は、「瓦」と「梁」に注目！

まずは瓦に注目。毛利の家紋を示す一丸瓦が使われています。次の注目点は、軒下の大きな梁。この梁、端の形が左右で異なります。どうしてなのでしょう。この門の差図(設計図)には、左右対称に描かれています。でも、実物は非対称。これは、新築部材ではなく古材を使用して建てられています。幕末維新の動乱期にこれだけの部材を急に揃えることが難しく、必要な部材を、藩庁ではなくなくなった萩城内の建物や江戸の桜田邸など既存の藩の建物から調達してきています。



左右の形が違う！

毛利の家紋を示す一丸瓦が！

山口御屋形は山口城という名のお城だったの？
そうなんです。でも天守閣のある城ではなく函館の五稜郭のように、堀と土塁をもった洋式構造の城でした。なぜか。幕末は、槍や刀、火縄銃などで戦っていた戦国時代とは違い、大砲などを使う近代戦争の時代だったからです。御屋形というのは建物のことを、山口城とは堀や土塁を含めた全体のことをいいます。また戦いに備え、鴻ノ峯をはじめ城の背面にある山々を自然の守りとし、山口に入る街道筋の宮野や小郡の柳井田などには関門を置いて大規模な防備体制をとっていたんですよ。

SPOT GUIDE 十朋亭

多くの志士たちが寄宿した十朋亭



十朋亭を中心とした新たな展示施設が2018年秋オープン！詳しくは、14ページを見てね

SPOT GUIDE 山口客館跡(御客屋)

移鎮により、山口にも要人の応接所が必要となり、慶応3年(1867)に建設された藩のいわば迎賓館。明治以降は、小学校や地方裁判所として使用されました。

SPOT GUIDE 萩往還 堅小路

志士たちも駆けつけた萩往還の時代とおなじ道幅です



150年前と同じ道幅で古い町名が今も残る町筋を歩いていると、当時にタイムスリップするような気分になれるかも



本堂裏に明治の元勲・井上馨侯の分骨墓があります。訪ねるなら紅葉の季節がオススメ



柱に残る刀傷は、諸隊士がつけたものといわれています！



山口県庁(藩庁)とその周辺の明治から現在までの変遷。(写真上・合成*) 明治半ば頃の山口県庁(旧藩庁)の建物。移鎮前は小さな宿場町だった山口。県庁の周囲は田畑ばかり。(写真下右) 大正5年に新しい県庁舎(現・山口県政資料館)が建つも周囲はまだ田畑多し。しかし、策源地以降現在まで県政の中心はこの地にあり、県都として発展し続けた150年後(写真下左)

昭和40年代ともなると県庁周辺は建物が密集してるね！



昭和40年代の空撮*。旧山口県庁舎の右手の小さな山がp.6の露山堂の名前の由来となった「一露山」。絵図の御屋形前の道と県庁舎前の道の形が同じことに注目！



山口市菜香亭
平成8年まで山口市民に親しまれてきた料亭「菜香亭」の建物を平成16年に移築復元。かつて料亭をよく訪れていた井上馨や伊藤博文などが揮毫した額が飾られています。広大な敷地は、敬親公の隠居所として建てられた野田御殿(左のモノクロ写真)の跡地です。

SPOT GUIDE

山口市菜香亭



田原春耕(たはら・しゅんこう)という山口の絵師が描いたこの絵馬は、野田神社の十年祭を記念してつくられたもので、当時の御屋形周辺の様子、土壘や石垣、藩庁門がよく描かれており、歴史資料として大変価値があります

山口御屋形の様子を知りたければ、この絵馬を見て！
豊栄神社の絵馬堂には、敬親公が慶応2年(1866)に落成した山口御屋形に入っていく時の山口町民の慶祝の様子を描いた「毛利敬親山口御屋形入居奉祝図」(県指定有形文化財)という絵馬がかけられていました。現在修復中で、製作当時の鮮やかさが蘇った姿となって、今夏開催の毛利敬親展(12ページ参照)に展示予定です。ぜひ実物をご覧ください。

策源地を覆ぶにもってこいの名品!!



幕末の藩主だった敬親公は神様になったってホント? そうなんです。敬親公を祀る神社が出来たのは明治時代。明治6年(1873)、山口県の人々の懇願により公の霊を祀った神社が毛利元就を祀る豊栄神社の境内別殿につくられ、その後明治9年(1875)に地名から野田神社に改称。明治19年(1920)に現在地に社殿が造営され、昭和11年(1936)には嗣子・元徳も配祀されました。毛利家歴代藩主の中で神様になった(神社)があるのは、元就、敬親、元徳の3名だけです。

SPOT GUIDE

野田神社・豊栄神社



ココは、現在の香山公園のエリア。瑞瑞光寺五重塔も描かれてるね！

幕末、西郷隆盛さんや坂本龍馬さんが山口に来ていたってホント? ホントです。西郷隆盛や大久保利通、坂本龍馬らが幕末に山口や湯田温泉を訪れています。「策源地」であった山口には、彼らをはじめ他藩の志士や要人がたくさん訪れ、多くの話し合いがもたれ、さまざまな策が練られていたんです。



明治維新の功績に対して朝廷から敬親公に贈られたもの。

SPOT GUIDE

勅撰銅碑

SPOT GUIDE

露山堂



山口藩庁の中にあった「露山」の麓に設けられていた茶室を移築したもので、正式な藩の会議ではない話し合い等がもたれたと伝わっています。

SPOT GUIDE

枕流亭

元々は道場門前にあった安部家の離れを移築。幕末、ここで志士たちが倒幕や当時の政治情勢などについて話し合ったといわれています。亭内に維新の志士たちの紹介パネルを展示。

SPOT GUIDE

香山墓所(毛利家墓所)

香山墓所のお墓は、変わった形をしているけど?

香山墓所は、山口移鎮後の毛利家の墓所。毛利敬親公夫妻、元徳公夫妻、元昭公夫妻の墓があります。武士の墓というと五輪塔を思い浮かべる方が多いと思いますが、あれは仏式の墓石なんです。香山墓所は神道形式のお墓なので、土饅頭の前面に墓石を立てた形になっています。ちなみに、敬親公夫妻のお墓は、高さ約1.8メートル、径約5メートルの円形のお墓の前に贈従一位大江朝臣敬親卿と刻まれた墓石が立てられています。また、戊辰戦争などで戦った維新の諸隊士たちを祀る全国の招魂社も神道形式の霊柱になっているんですよ。



国指定史跡「萩藩主毛利家墓所」は、萩の東光寺(奇数代)、大照院(偶数代)、天樹院(これに山口の香山墓所の4か所)！

SPOT GUIDE

洞春寺

柱や壁に残る志士たちの痕跡

山口移鎮後、長州藩は山口の社寺を借り上げました。中でも洞春寺は藩庁に近く、藩が直接管理する武器貯蔵庫として使われていました。また、元治元年(1864)、藩の政權交代により諸隊の解散命令が出た際には、それを不満とした諸隊の志士たちが洞春寺を集議所とし、さまざまな話し合いを行っていました。本堂には諸隊の隊士によるものと伝わる刀傷の跡や名前が墨書きされた壁板が残っています。

昔は、山頂広場に池があったのね!



写真右下には欄干が! 奥には観光客も見えますね!*

公園の一面に少し窪んだ場所があり、その縁に古びた石柱が並んでいます。実はこれ、かつて山口御茶屋の前にかかっていた御茶屋橋の欄干なんです。そのうちの一本には「山口御茶屋」の文字が。維新後、橋の架けかえ時に移築されたのでしょうか。大きな銅像はなくなりましたが、ひっそり遺っているものもあります。

山頂広場と園路は維新150年を記念して現在整備中。2018年9月に完成予定。15ページも見てね!



明治時代の銅像は、太平洋戦争の時に金属資源として供出されなくなりましたよ*



高い建造物がない当時、小高い亀山は町中からよく見えたでしょうし、見晴らしのよい高台からは山口の街が一望できますので、そんなことから人気を集めていたのではないのでしょうか。今は残っていませんが、山頂広場には伊藤博文らが募金を呼びかけて明治33年に建てられた敬親公や旧支藩の藩主らの銅像が立ち並び、明治維新の功労者を顕彰する銅像公園として市民に親しまれていたのです。

SPOT GUIDE

亀山公園(長山)

亀山公園は明治時代に人気の観光名所だったってホント?

なぜ静かな宿場町だった山口が明治維新の策源地になったのか。2つの絵図を見ながら解き明かしてきたヒミツの答えは…?!



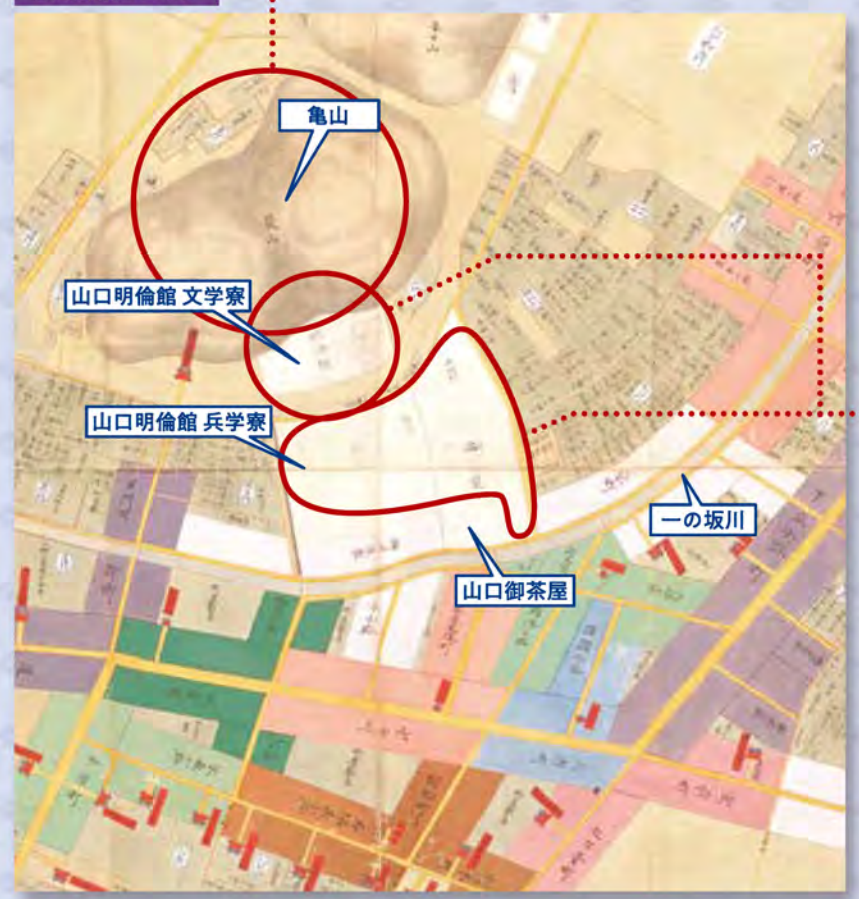
幕末の日本では、武士が個人の能力で戦う世の中から、隊長を中心にして武器と戦術を駆使して戦う近代戦の世の中に時代が切り替わったんです。そのため、文武両道、学問を学び武術で鍛えられた人材の育成が急務で、育てた人材をいち早く戦いの前線に送る必要があったからです。当時の諸隊規則を見ると、例えば午前中は勉強で昼から武術となっていて、指し書を読んで西洋式の近代的な戦術を理解し、大砲の射程距離や角度を計算して戦うことができなかったら兵隊として役に立たないのです。だから、政治の拠点「御屋形」の次に必要だったのは学校だったんです。

山口移鎮後、すぐに御屋形と藩校(学校)を作ったのはなぜ?

萩の城下町は山口移鎮のときに一緒に移ってきたの?

いいえ、幕末の山口移鎮は、今でいう首相官邸だけが山口に移り、武家の屋敷など基本的な城下町としての機能はまだ萩に残っていたんです。明倫館が萩と山口に2つあったように、城下町が丸ごと遷都したわけじゃないんです。なぜか。将来の政局の行方も分からない状態で萩を引き払えるわけがなく、あちこちで維新に向けて戦っている最中でもあるので、新しく城下町を作ったりする時間もありません。だから、藩主と一緒に移ってきた家臣たちは、山口では臨時に家を借りたり宿に泊まったりして仕事をしていたんです。当時の山口の町役割を考えると、多量の志士たちが各地に向けて送り出されていく。新たに開かれた藩校「山口明倫館」では新しい時代を切り拓いていくのに必要な人材の育成を急務とし、育て上げた文あるいは武に長けた人材を順次送り出していく。つまり、この町のありようこそが、山口が間違いなく「明治維新の策源地」であったことを物語っているのです。

山口御茶屋エリア



後年、軍事や戦術について学んだり兵隊としての訓練をする「兵学寮」と学問をする「文学寮」の2つの学び舎に分かれ、絵図にあるように、山口御茶屋周辺の広大な一画に兵学寮の学舎と練兵場が、道を挟んだ亀山の麓に文学寮の学舎がありました。現在、文学寮の跡地には県立美術館が建ち、兵学寮の練兵場跡は芝生広場のある公園になっています。

SPOT GUIDE

山口明倫館(跡)

山口明倫館って萩の明倫館が移ってきたの? いいえ、藩校・明倫館は変わらず萩にあり、政治の中心が山口に移ったので、そのお蔭で兵隊を育てるために山口にも藩校が新たに作られたんです。山口明倫館の前身は、文化12年(1815)に山口在住の萩藩士・上田鳳陽が中河原の地に創立した山口講堂です。文久3年(1863)の藩庁の山口移鎮に伴い山口明倫館と改称されました。



山口明倫館兵学寮跡の石碑が建つクリエイティブ・スペース赤れんが(写真上)。山口大学の「創基の地」記念碑が建つ一の坂川交通交流広場(写真下)



山口明倫館文学寮跡地に建つ山口高等商業学校(写真上)。建物下の石垣は、現在その跡地に建つ山口県立美術館(写真下左)の土台の一部にも残っている。兵学寮跡は校庭として使用され(写真下右)*、現在は公園となっている

山口明倫館が学都・山口の礎となったっていわれているけど?

そうですね。維新の策源地となったとき、町の中心地にあった山口御茶屋に隣接して建てられた山口明倫館。一の坂川沿いから亀山山麓まで続くその広大な校地は明治以降もずっと、昭和40年代に同地にあった山口大学が郊外に移転するまで、学校用地として利用され続けたんです。山口明倫館が山口中学に名称変更となったのが明治33年、以降山口高等中学校(明治19年)、山口高等学校(旧制明治27年)、山口高等商業学校(明治38年)、山口大学(昭和24年)と町の中心地には学校があり、町なかには多くの学生さんが住み、市民が彼らをあたたかく見守る町の気風が育まれてきました。山口大学の郊外移転後、跡地は公園や公共施設などに整備され今は学校もありませんが、山口明倫館以降100年以上続いた学校を中心地に抱く町の成り立ちは、学都と呼ばれる山口の町の礎となっています。



山口市が「学都」と言われるようになったのは、先人たちの未来を思う志があったからなんだね

明治時代の山口中学校(上)と昭和初期の山口高等商業学校(下*)



年	月	出来事	年	月	出来事
1968	1	藩の内訌戦終り改革派が政権奪回 敬親、山口へ還る	1865	1	内訌戦始まる
1969	2	敬親、山口を永く本藩の根拠地とすると告諭 毛利敬親父子に倒幕の密勅 岩倉具視の内命により後河原で錦の御旗が製作される	1866	2	高杉晋作が下関で挙兵
1970	3	山口明倫館復興。毛利敬親父子、山口明倫館で文武研修の訓示	1867	3	幕長戦争(四境戦争)開戦。長州藩が勝利
1971	4	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1868	4	薩長同盟締結(京都)
1972	5	敬親、山口藩内にて病死。香山墓所に葬られる	1869	5	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1973	6	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1870	6	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1974	7	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1871	7	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1975	8	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1872	8	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1976	9	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1873	9	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1977	10	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1874	10	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1978	11	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1875	11	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1979	12	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1876	12	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1980	1	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1877	1	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1981	2	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1878	2	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1982	3	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1879	3	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1983	4	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1880	4	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1984	5	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1881	5	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1985	6	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1882	6	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1986	7	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1883	7	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1987	8	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1884	8	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1988	9	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1885	9	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1989	10	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1886	10	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1990	11	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1887	11	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1991	12	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1888	12	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1992	1	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1889	1	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1993	2	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1890	2	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1994	3	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1891	3	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1995	4	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1892	4	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1996	5	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1893	5	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1997	6	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1894	6	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1998	7	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1895	7	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
1999	8	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1896	8	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
2000	9	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1897	9	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
2001	10	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1898	10	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
2002	11	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1899	11	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)
2003	12	山口明倫館兵学寮に英学科新設 文学、兵学の2寮にわける	1900	12	幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下) 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀) 大村益次郎医学記念碑 脱隊諸士招魂碑(下小幡) 井上勝旧宅跡(下小幡)



策源地歴史年表

西暦	元号	年	月	出来事
1865	慶応	1	1	内訌戦始まる
1866	元治	1	6	池田屋事件
1867		7	7	禁門の変(蛤御門の変)。久坂玄瑞ら戦死
1868		8	8	第一次長州征討の勅命下がる
1869		9	9	英仏蘭米の四国連合艦隊が下関を砲撃
1870		10	10	藩政権交代により萩に帰り、政事堂を再び萩城内の墨書院に置く
1871		11	11	山口御屋敷竣工
1872		12	12	幕府の使者、山口御屋敷の破却状況などを視察
1873		1	1	山口明倫館の学業・訓練中止し、兵学寮を萩に移す
1874		2	2	山口明倫館廃止
1875		3	3	山口新屋敷の建築起工
1876		4	4	井上馨と伊藤博文が急遽英国より帰国。十朋亭に起居
1877		5	5	井上馨、袖解橋近くで襲撃される
1878		6	6	周布政之助、矢原の吉富邸で自刃
1879		7	7	藩政権交代により萩に帰り、政事堂を再び萩城内の墨書院に置く
1880		8	8	萩城の主要部を残して解体し、山口へ運ぶ
1881		9	9	三条実美ら七卿が山口へ下向(七卿落ち)
1882		10	10	萩政事堂を廃止
1883		11	11	萩政事堂を山口明倫館と改称
1884		12	12	山口新屋敷の建築起工
1885	文化	1	1	敬親、山口の地を踏査させる
1886	弘化	2	2	山口講習堂を中河原から亀山の東麓に移転・拡充
1887	天保	3	3	敬親、第13代藩主となる
1888	文化	4	4	長州藩士・上田鳳陽により山口講習堂設立
1889	文化	5	5	敬親、山口の地を踏査させる
1890	文化	6	6	山口講習堂を山口講習堂と改称
1891	文化	7	7	敬親、山口の地を踏査させる
1892	文化	8	8	敬親、山口の地を踏査させる
1893	文化	9	9	敬親、山口の地を踏査させる
1894	文化	10	10	敬親、山口の地を踏査させる
1895	文化	11	11	敬親、山口の地を踏査させる
1896	文化	12	12	敬親、山口の地を踏査させる
1897	文化	1	1	敬親、山口の地を踏査させる
1898	文化	2	2	敬親、山口の地を踏査させる
1899	文化	3	3	敬親、山口の地を踏査させる
1900	文化	4	4	敬親、山口の地を踏査させる



そのほかの山口市内の幕末維新関連の史跡(主なもの)

- 大村益次郎塾跡・普門寺(白石)
- 赤禰武人碑(旭通り)
- 錦旗製作所跡(後河原)
- 吉敷招魂社・天神山公園(吉敷佐畑)
- 所部太郎の墓・三舞墓地(吉敷上東)
- 錦小路頼徳墓・赤妻神社(赤妻町)
- 野坂番所跡(阿東徳佐上)
- 樗本陣跡(阿東徳佐中)
- 長向寺(阿東生雲東分)
- 奇兵隊本陣・正慶院(徳地小古祖)
- 幕府軍監拘禁所・法明院(宮野下)
- 上田鳳陽の墓・乗福寺(大内御堀)
- 大村益次郎医学記念碑
脱隊諸士招魂碑(下小幡)
- 井上勝旧宅跡(下小幡)
- 山口大神宮小郡遷拝所(小郡下郷)
- 小郡御茶屋・小郡宰判勘場跡(小郡下郷)
- 大村神社・大村益次郎墓・生誕地跡(鑄銭司)
- 脱隊兵駐留所・正護寺(陶)
- 大村益次郎生誕地碑(秋穂西)
- 朝日山招魂社(秋穂)
- 山尾庸三旧宅(秋穂二島)

ここにご紹介した以外にも幕末維新ゆかりの史跡は市内にたくさん点在しています。山口市内の維新関連の史跡について詳しくお知りになりたい方は、山口市文化交流課発行の「山口市 幕末維新史跡ガイドブック」(A5版・152頁・税込700円)または「幕末維新がわかる本 山口市版」(A5版・84頁・税込500円)をご覧ください!!

新刊「山口市維新人物ガイドブック」2018年6月発売予定。お楽しみに!

時代は、武士の世から近代国家へ
 [明治150年記念特別展]

激動の幕末長州藩主

毛利敬親

他を圧倒する
 幕末維新の
 一級歴史資料と
 美術工芸品が
 集結!

平成30年7月13日(金)～8月26日(日)
 山口県立美術館 (月曜休館 ※7月16日、8月6日・13日は開館)



毛利敬親肖像 E.キヨッソーネ筆
 明治時代
 山口県立山口博物館蔵

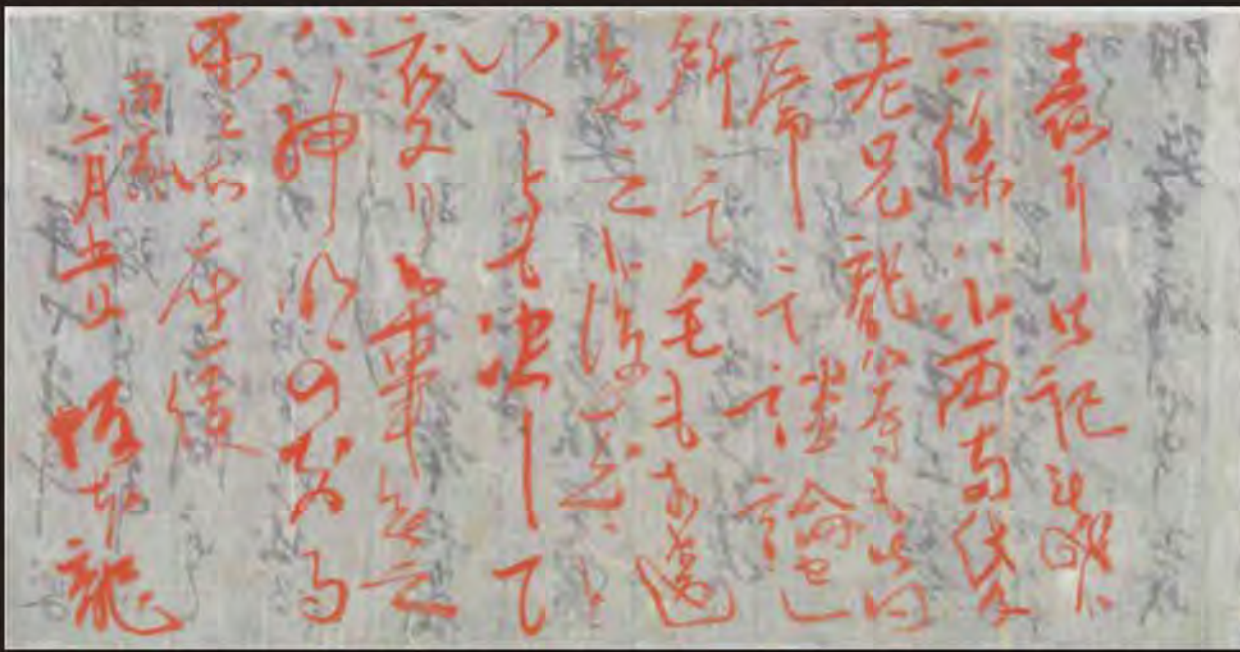


白地桐唐草文様大和錦陣羽織
 毛利敬親所用
 毛利博物館蔵

幕末のリーダーの
 実像に迫る!
 激動の幕末維新时期に、長州藩13代藩主として幾多の難曲を乗り越え、明治維新達成に大きく貢献した毛利敬親(1819-71)の生涯と実績を、一級の歴史資料と美術工芸品で紹介します。



毛利敬親山口新御屋形入居奉祝図
 山口県指定文化財
 明治14年
 野田神社蔵(山口県立山口博物館寄託)



木戸孝允書簡
 坂本龍馬筆薩長同盟裏書
 慶応2年
 宮内庁書陵部蔵

龍馬が記した
 薩長同盟の証

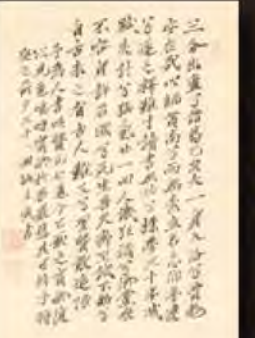


木戸孝允肖像
 山口県立山口博物館蔵
 岩倉使節副使を務めた木戸の英国でのスタイル

平成28年保存修理後の
 初公開!!



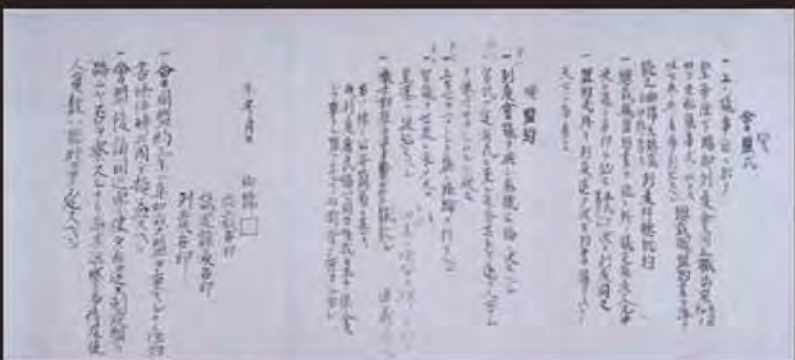
五箇条御誓文
 慶応4年
 宮内庁書陵部蔵



松陰が形見として残した6幅の自賛肖像のうち最後の作品!!



吉田松陰自賛肖像(中谷本)
 安政6年5月24日
 山口県立山口博物館蔵



五箇条御誓文 木戸修正案
 慶応4年
 宮内庁書陵部蔵

明治新政府の
 基本方針がこれだ!!

国指定
 重要文化財・
 県指定文化財
 を含む約200点を
 一挙公開!

【イベント情報】

7月から8月にかけて関連講座やイベントも盛りたくさん!! 策源地案内人を務めていただいた山田稔先生の特別講座(7/14)やギャラリートーク(7/29・8/25)古地図を片手に策源地山口を歩くイベント(7/21)も予定されています。お楽しみに!!

- 開館時間/9:00-17:00 ※入館は16:30まで
- 休館日/月曜。但し、7月16日、8月6・13日は開館
- 観覧料/一般1,300(1,100)円、シニア・学生1,100(900)円
 ※シニアは70歳以上
 ※ ()内は前売および20名以上の団体料金 ※18歳以下無料
- 山口県立美術館 山口市亀山町3-1 ☎083-925-7788
- 主催:毛利敬親展実行委員会(ミュージアム・タウン・ヤマガチ実行委員会、山口市、KRY山口放送、読売新聞社)
- 企画・監修:山口県立山口博物館 ■特別協力:毛利博物館

- プロローグ 毛利家の興隆
- 第1章 藩主敬親の誕生
- 第2章 長州藩主の苦悩と決断
- 第3章 維新達成ー藩主から公卿へ
- 第4章 有能な人材の登用
- 第5章 毛利家ゆかりの美術工芸品
- エピソード 語られていく敬親像
- Extra 写された幕末明治の長州人

2019 150年 幕末維新回廊 Yamaguchi Legacy 山口めぐりと

詳しくはコチラ
 明治150年 山口 検索

山口の幕末・明治維新が楽しく学べる

「十朋亭維新館」

平成30年9月29日オープン



この秋、山口市指定史跡「十朋亭」を中心に明治維新をテーマにした「十朋亭維新館」がオープンします。本館展示室内には、十朋亭に出入りしていた維新の志士ゆかりの資料が展示されるほか、プロジェクションマッピングや専用ARアプリなどを使って、なぜ山口市が幕末に明治維新の策源地となったのかについて楽しく学べるようになっていきます。同じ敷地内に建つ「十朋亭」や「杉私塾」は従来通り入場無料で見学自由。また、本館内の休憩スペースやインフォメーション等は無料で利用できますので、隣接の大路ロビーとともに町歩きの際は施設としてご利用いただけます。開館をお楽しみに！



本館展示室に展示予定の井上馨と伊藤博文の自筆が書かれた大杓子

【施設情報】
 前 山口市下笠小路112番地
 時 9:00～17:00
 休 火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日)
 料 展示室のみ有料 大人200円(高校生以上) 小人100円(小・中学生)

山口市指定史跡

「十朋亭」について
 文久3年(1863)の山口移鎮により、山口の町では藩士たちが滞在する場所が急にたくさん必要となり、町中の豪商や豪農寺社が藩士の住まいとして利用されました。十朋亭は、江戸時代中期より堅小路で醤油業を営んでいた萬代家の離れで、山口移鎮後は藩士の宿所となり、当主・萬代利兵衛が勤王の志士たちを援助していたため久坂玄瑞や高杉晋作、木戸孝允、周布政之助、井上馨、伊藤博文ら多くの志士たちが出入りしました。



十朋亭隣接の「杉私塾」は、吉田松陰の兄・杉明治が維新後の一時期、塾を開いていたとされる

【お問い合わせ先】
 山口市文化交流課(※施設オープン前まで)
 ☎083-934-2717

建物は1800年頃のもので幕末期に土間や上がり框が増築された。ほとんどが当時のままで近世の民家建築の様式をみることが出来る貴重な財産

明治維新の策源地が一望のもと。

亀山公園の山頂広場がより見晴らしよく快適にリニューアルします！

明治維新150年を記念して、幕末の長州藩主・毛利敬親の建つ亀山公園山頂広場の整備を進めています。市街地の見晴らしがよりよくなるよう園内の樹木を剪定、あわせて遊歩道や東屋を整備し、照明器具も一新。より快適な公園空間に生まれ変わります。工事のため現在閉鎖中の山頂広場のリニューアル・オープンは、明治維新150年記念事業「山口ゆめ花博」



の開催期間の2018年9月予定。オープニングイベントなど詳細は夏以降に発表の予定です。山口市のホームページなどでご確認ください。

策源地の絶景が楽しめる亀山公園にご期待!!

亀山について

古い時代、亀山は長山と呼ばれていて、山の周囲には毛利秀元が長山城を築こうとした際の堀跡が残っていたといわれ、その頃の様子を描いた絵図も山口県文書館に残っています。現在、山裾にある池や水路は当時の堀の名残りではないかと考えられています。亀山公園山頂広場は、明治維新の実現に貢献した毛利家を顕彰する公園として明治33年に開園。山頂広場には、伊藤博文が募金を呼びかけて作られた幕末の長州藩主・毛利敬親と4つの支藩の藩主、それに毛利元徳の像が建っていました。しかしそれらの像は、太平洋戦争の折に金属資源としてすべて供出されてしまい、残念ながら現在は残っていません。



現在山頂広場にある毛利敬親像は、市政施行50周年を記念して昭和55年に建てられたもの

【お問い合わせ先】
 山口市都市整備課
 ☎083-934-2832

EVENT CALENDER —2018年に山口市内で開催される明治維新150年関連の主なイベントをご紹介します—

イベント	開催日	場所	事前申込	料金	お問い合わせ先
● 鑄銭司郷土館 歴史講座 大村益次郎に関する歴史講座(計6回)	5/5・6/2・7/7 8/4・9/1・10/6	鑄銭司郷土館	要	無料	鑄銭司郷土館 083-986-2368
● 鑄銭司郷土館 常設展 明治維新の先覚者、大村益次郎の生涯を紹介	通年	鑄銭司郷土館		100円	
● 藩主毛利敬親の真のキャラクターに迫る 逸話から藩主・毛利敬親の真のキャラクターを明らかにしていく	6月1日～ 8月31日	山口市菜香亭		100円	山口市菜香亭 083-934-3312
● 「西郷どん」がさらにおもしろくなる!～時代考証の話～ 「西郷どん」の舞台裏を時代考証担当の大森洋平氏が紹介	6月9日	山口市菜香亭	要	無料	
● 明治維新150年記念山口新能 明治維新70周年を記念して建築された能楽堂において「翁」他上演	7月29日	野田神社能楽堂	要	5,000～ 12,000円	山口観光コンベンション協会 083-933-0088
● やまぐち歴史講座2018 幕末・明治維新の山口ゆかりの人物に関する講演会	1回目/夏～秋頃開催予定 2回目/秋～冬頃開催予定 3回目/冬頃開催予定	山口情報芸術センター [YCAM]		無料 (予定)	山口市文化財保護課 083-920-4111 山口市立中央図書館 083-901-1040
● 幕末長州藩のイメージ戦略 瓦版など幕末当時の長州藩や民衆の様子に関する資料を展示	8月中旬～ 10月上旬	山口市歴史民俗資料館		100円	山口市歴史民俗資料館 083-924-7001
● 山口よそおいの明治維新 幕末から明治までの衣服を展示	10月中旬～ 12月下旬	山口市歴史民俗資料館		100円	山口市歴史民俗資料館 083-924-7001
● 山口ゆらめき回廊 国宝瑠璃光寺五重塔の散策路にキャンドルを灯すイベント。 10月は毛利家墓所側まで広範囲にキャンドルを設置	9/15～9/17, 10/14,21,28(予定)	香山公園		無料	大路ロビー 083-920-9220
● 山口お宝展 山口市内の文化施設等で明治維新ゆかりの建造物やお宝を一挙公開	9月下旬～ 10月31日(予定)	山口市内各所			山口商工会議所 083-925-2300
● 歴史交流記念シンポジウム(仮) 基調講演やパネルディスカッションなど	10月初旬予定	山口県教育会館(予定)	要	無料 (予定)	

※本情報は2018年3月1日現在のものです。掲載情報は予告なく変更となる場合がありますのでご了承ください。

明治期の井上公園



井上公園の絵はがき。中央左手に井上馨の銅像が建つ

明治の元勳が生まれた地。
幕末には七卿も滞在
【井上公園】



明治の元勳・井上馨の生誕地跡は公園として整備されています。文久3年(1863)八月十八日の政変により、都を追われた尊王派の七卿が長州に落ち延びます。その一人、三条実美は湯田温泉にあった井上馨の実兄・井上五郎三郎光遠の家に滞在。藩が増築した「何遠亭」で起臥し、ここで志士と諸卿たちと会見しました。三条の滞り期間は元治元年(1864)5月から11月までのわずか半年あまり。三条らが山口を離れた後、この地は諸隊会議所や他藩要人の接客の場など藩の施設として利用されました。



現在園内に建つ建物がかつての「何遠亭」をイメージして平成28年に新築されたもの



井上馨の銅像(左)と並んで建つ所部太郎の銅像

大正時代の碑



七卿落ち六十年を記念して大正時代に建てられた七卿遺跡碑

150年経つと…



昭和6年に石碑が建立された時の様子

酒を愛し、部下に愛された漢
【周布政之助の碑・墓】

藩の重臣であった周布は、過激に走る志士たちを庇護したり大村益次郎を登用するなど維新実現に大きな働きをしましたが、元治元年(1864)禁門の変の責任をとって仮住まい中だった湯田近くの吉富藤兵衛方離れで自刃しました。昭和6年、湯田近くに周布の功績を称える碑が建立され、その後昭和40年には一帯の町名が「周布町」とされました。隣地にある墓石には、謹慎中に藩命で名乗っていた麻田公輔の名が刻まれています。



維新の三傑となった木戸が遺したもの
【木戸神社・木戸孝允旧宅跡】

幕末には薩長同盟の締結に尽力し、維新後は版籍奉還や廃藩置県を実現させた木戸孝允。天保4年(1833)に萩の藩医のもとに生まれ、山口移鎮に伴い移住し、山口の糸米に屋敷を建てました。明治10年に京都で病死した木戸は、「糸米の住宅と山林を村民に与え、子弟の学費に充てるように」という遺言を残し、木戸の死後、遺言通り糸米村に寄付された村民子弟の学費に充てられました。これは奨学資金制度の元祖ともいわれています。地区民は木戸公に深く感謝し、この地に「木戸公恩徳碑」を建立。その後、木戸の霊を祀る木戸神社を創立しました。

湯田温泉からひと足のばして…



維新ゆかりの湯

湯田温泉で

ゆるりと歴史スポット巡り

温泉で癒されながら、歴史のかけらをのんびり&ぶらりと巡ってみてはいかがでしょうか。



明治期の湯田温泉



幕末以降訪れる客が増え、維新後旅館や料理屋が急速に増えていったという

湯田温泉と維新

藩政時代の湯田は、藩主の別邸であった湯田御茶屋のほかは小さな宿や休憩所が数軒あるだけの小さな温泉地でした。しかし幕末、長州藩に落ちのびてきた七卿が滞在したことで湯田にはわかに世間の注目を集め、また七卿のもとには多くの志士たちが各地から訪ねてくるようになりました。坂本龍馬や西郷隆盛など策源地・山口を訪れた志士たちも隣町であった湯田に立ち寄ったといわれ、湯田温泉は「維新ゆかりの湯」と呼ばれるようになりました。

藩内闘争で刃傷沙汰

【井上馨遭難の地】

改革派であった井上は元治元年(1864)、湯田に近い袖解橋付近で藩内保守派に襲われ重傷を負いましたが、医者で美濃国の志士であった所部太郎の処置により一命を取り留めました。命を救った所を顕彰する碑は、井上公園内に建てられています。



日帰りの湯治と偽り、山口移鎮を実現

【湯田御茶屋跡】

江戸時代、毛利氏は湯田に別邸「湯田御茶屋」を設けて歴代藩主が湯治に訪れていました。山口移鎮の折、藩主敬親は「湯田への日帰りの湯治」と称して山口入りし、以降山口に政治拠点を置くことになりました。湯田御茶屋の建物はすでになく、今は小さな石碑がその歴史を語るのみです。



ツルツルピカピカ「美肌の湯」

単純アルカリ泉で無色透明の湯は「美肌の湯」とも呼ばれています。宿泊施設だけでなく、日帰り入浴施設や無料で利用できる足湯もあるのでぜひお立ち寄り。湯田温泉の楽しみ方は、湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」ホームページでチェックしてね!!



井上公園内に設けられた足湯。10:00~22:00無料で利用できる



狐の足あと 湯田 検索 <http://www.yuda-onsen.jp>



木戸神社

木戸孝允ゆかりの神社と隣接する公園は桜の名所として市民に親しまれている。木戸神社の鳥居、灯籠は、県庁内露山にあったものを買い取って移設したものだという

*Ichinosakagawa
Kido Jinja*



一の坂川

春は桜、初夏は螢の名所として多くの人が訪れる一の坂川。明治維新の策源地として大きな役割を果たした山口御茶屋や山口明倫館は町なかを流れるこの川沿いにあった

特集2 写真で綴る

策源地の四季

桜咲くうらかな日ざしの春。爽やかな風が吹き抜ける初夏。色づいた紅葉に彩られる秋。澄み渡る空気に町が包まれる冬。150年の時を重ねてきた策源地の今は、のどかでどこか懐かしい風情



萩往還

日本海側の萩と瀬戸内の防府三田尻をほぼ直線で結ぶ萩往還。その真ん中あたりにあたる六軒茶屋跡には、古文書を元に駕籠建場や石垣、石畳などが復元され、東屋やトイレも設けられて歴史の道を歩くハイカーたちの格好の休憩場所となっている(写真上・中右)。長門国と周防国の国境を示す石碑(写真中左)。萩往還一の難路といわれる急勾配の「一の坂」にある四十二の曲がり(写真下)



Hagiokan



野田神社

毛利敬親を祀る野田神社と毛利元就を祀る豊米神社は同じ境内地に建つ。手前が野田、奥に見えるのが豊米の拝殿(写真上)。毛利家の家紋・一文三三の垂れ幕がかかる神門より野田神社拝殿を仰ぐ(写真下)

Noda Jinja





Kozan Koen



Saikotei

山口市菜香亭

明治時代の料亭を移築した建物はレトロ感満載。木製の窓枠や引き戸、うねりのある古いガラスの窓の向こうには美しい日本庭園が。古き良き時代の和にひたることができる



香山公園

幕末の藩主・敬親が眠る香山墓所をはじめ、枕流亭、露山堂、勅撰銅碑など維新ゆかりのスポットが数多く点在する史跡公園。公園のシンボルは、国宝 瑠璃光寺五重塔。室町時代の創建(左ページ)。脇本陣も務めた安部家のあった道場門前から移築された枕流亭。薩摩藩の小松帯刀や西郷隆盛が訪れ薩長連合の話し合いがもたれたと伝わる(写真下左)。幕末の藩主・毛利敬親が眠る香山墓所手前の石畳は、手を叩く音や足踏みの音が反響することから「うぐいす張り」と呼ばれる(写真下右)



国宝 瑠璃光寺五重塔
春の桜、夏の緑、秋の紅葉、そして冬の雪景色。どの季節に訪れてもフォトジェニックな姿に出会える国宝。夜間ライトアップされた姿も幻想的

Rurikoji Gojunoto



旧山口藩庁門
藩庁門前、山口県庁の敷地を取り囲むようにある堀は幕末に山口御屋形が造られた際に造営されたものがほぼそのままの形で残っている。堀端は桜とツツジの名所として知られる。毛利の家紋を示す藩庁門の「丸瓦」(写真左下)

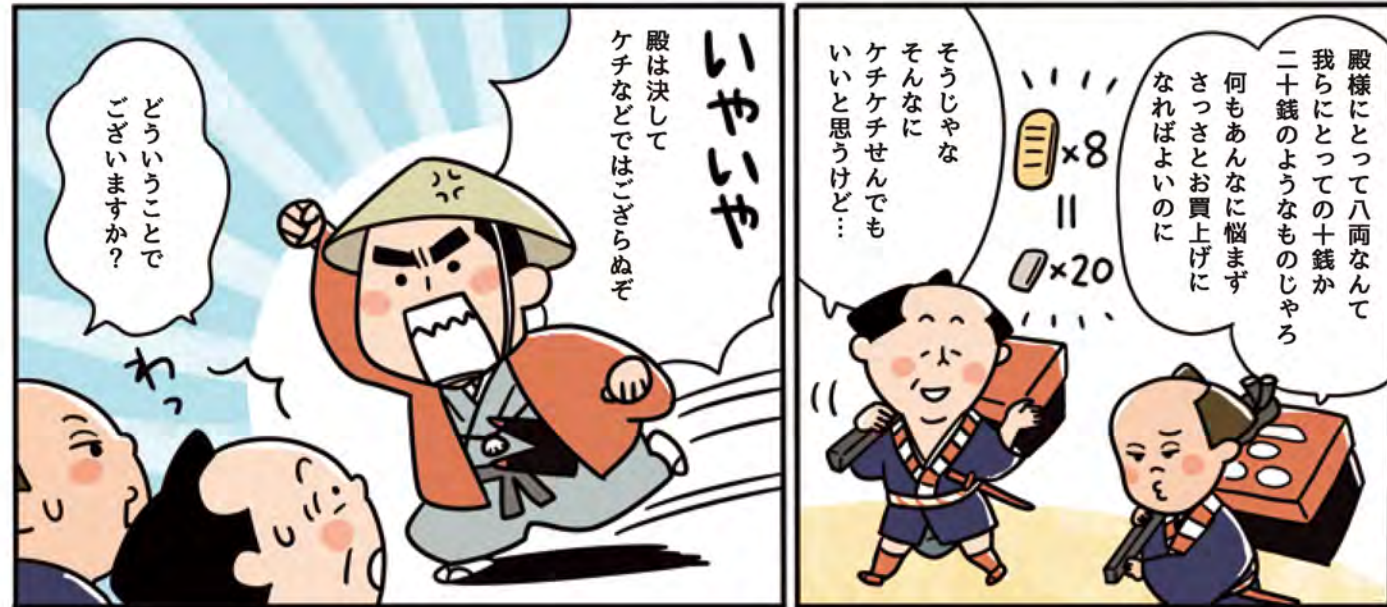
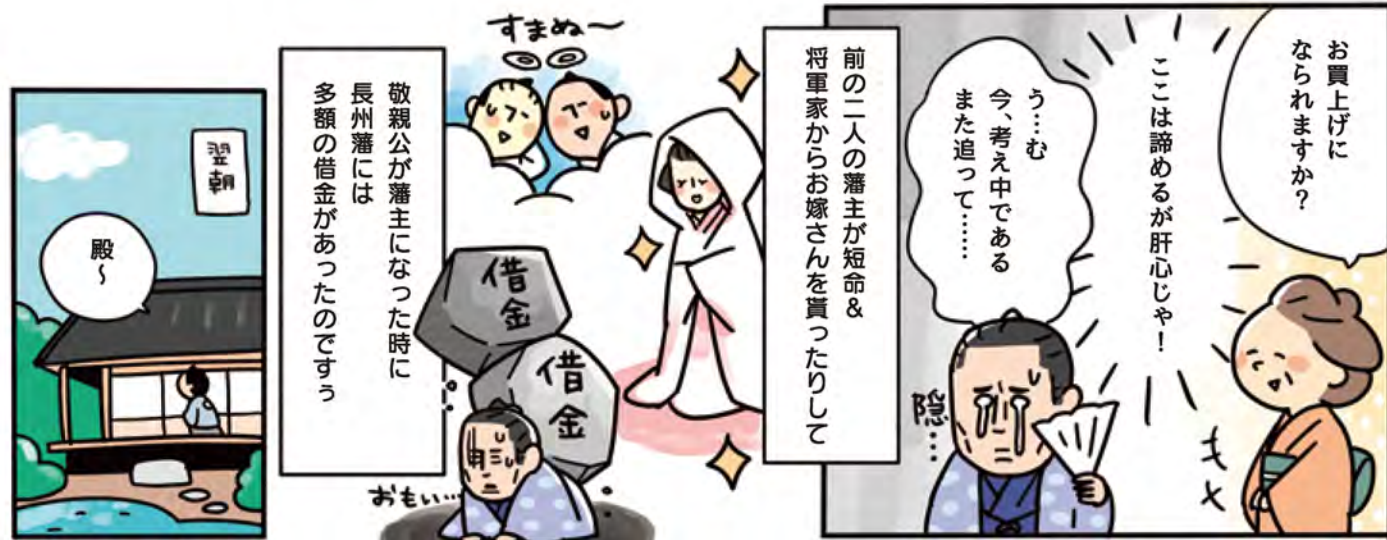
Hanchomon

たくさんの歴史や物語が宿っている

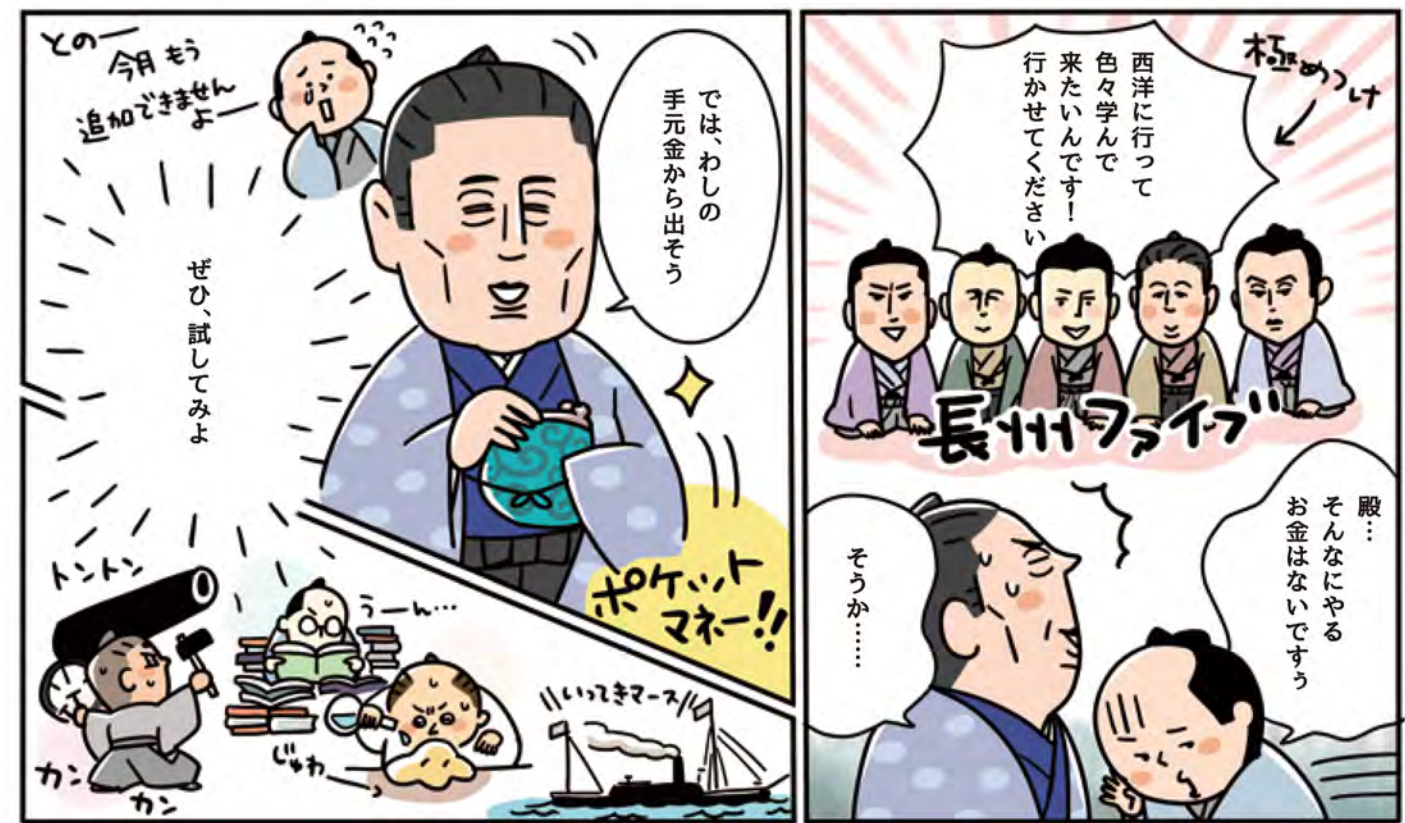
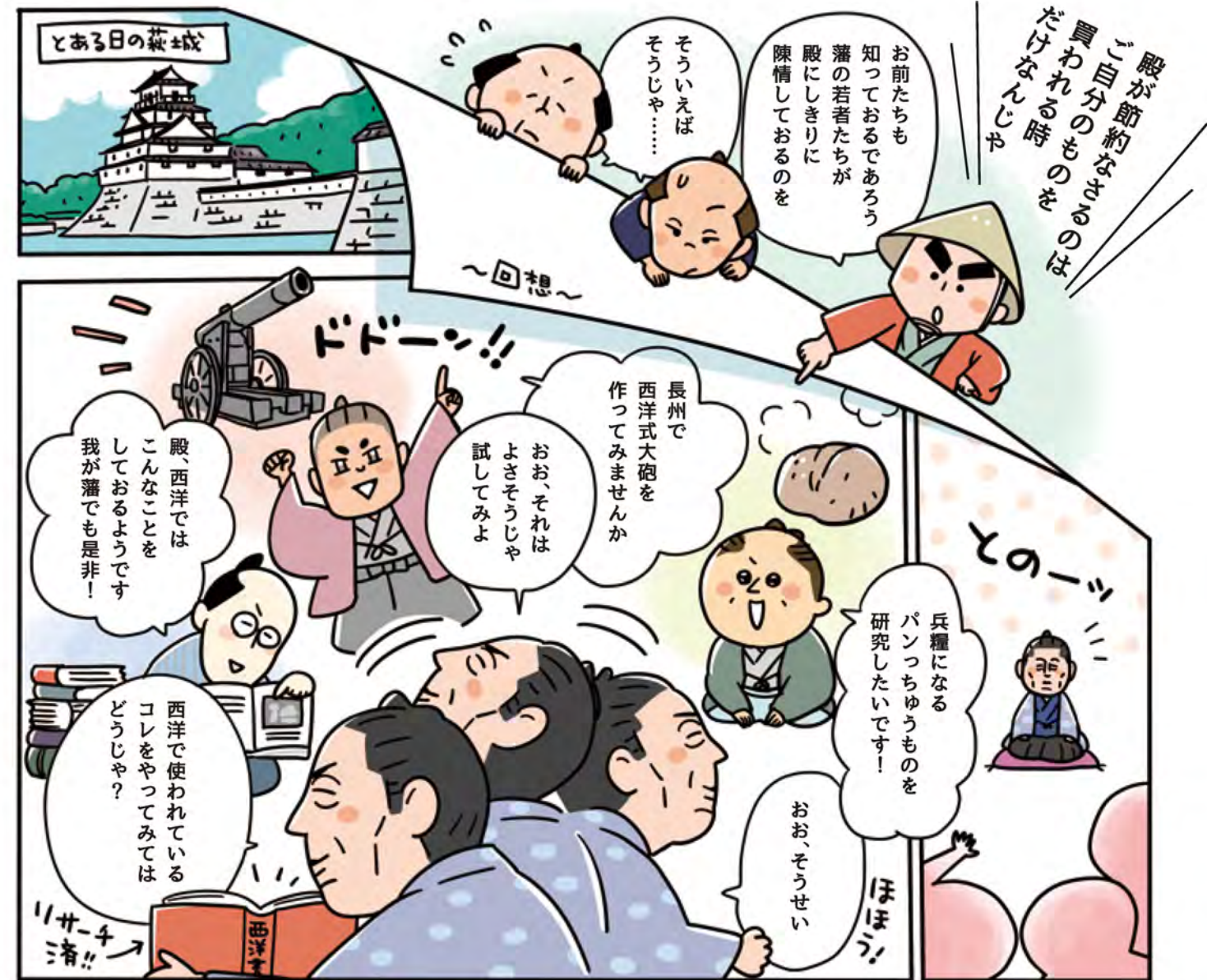
町は生きている。流れ続ける川のように、町の時は静かにそして永遠に重ねられていく。150年の年月は、町の様相を明治維新の頃とは大きく変えました。かつてこの町にとって大切だった場所も今は石碑ひとつ残るだけかもしれません。でも、そこには数々の歴史や物語が宿っています。かつてこの町に暮らした先人たちが、何を夢見てどんな人生を送ったのか。今の町の空気を楽しみつつ、そんなことにも思いをはせながら巡っていただく、明治維新の策源地の意外な魅力に出会うことができるかもしれません。

これぞ名君!
 たか ちか
藩主・敬親公
掛け軸を我慢するの巻

上から下まで本当に多くの家来に慕われていたという敬親公。そんな公のお人柄をよく表しているエピソードをご紹介します。



*歴史・文学・美術などさまざまな分野で活躍した江戸時代後期の日本を代表する漢學者





recipe 2

幕末パン
萩の朝鮮通詞(通訳)の家に
生まれた中嶋治平が伝えたパン



やったー!!
腐らない「兵糧」ができたぞ〜!
「備急餅」じゃ、
これ食べて、戦いに勝つぞ!!



幕末に作られていたパンについては萩の中嶋治平が残した詳しい資料を基に、萩博物館が現代でもパンが焼けるレシピに整えて提供しています。そのレシピで焼いたパンを「幕末維新パン」として、山口市内にあるパン屋さんでも製造販売しています。今のパンとの違いは、

明治時代のレシピ
小麦粉 一斤
卵 五ツ
糖 少許
本 五勺
前ノ如クフクラシパンの如ク焼、之ハパンヨリ少ユルクネル、是ヲ竈ニ入レ焼ク、其後二ツニヘギ元ノムロニ入ル

プロード
（原文）
（オランダ語で「パン」の意味）

（現代語訳）
プロード
翌朝五ツ時（午前8〜9時頃）に一斤のパンを焼きたい場合は、前の日の八ツ時（午後2〜3時頃）に以下の4つの材料を捏ねてまずパン種を作る。まんじゅうを作る時の瓶のように板の上に紙を敷き、火鉢の下に火を仕掛ける。丸くした種を豚油を引いた土鍋に入れて膨らませる（パン種を発酵させる）ためである。翌日、前述のようにして膨らしたパン種を竈に入れてパンを焼く。
小麦粉 約600g
卵 5個
砂糖 少々
酒母 約75g（※日本酒の醸造時に使うもの。イーストの代わり）

乳製品が全く使われていないこと。バターや牛乳を使わず、ふくらませるのは酒麹なので酒まんじゅうのようなふわっとした匂いのさっぱりした味わいになっています。ではこの「幕末パン」と山口とのつながりとはというと、実は幕末にこのパンを焼いていたのは山口市の

※1/慶応2年(1866)におこなった幕府と長州藩の戦い。「大島口」「石州口」「小倉口」の四つの国境が戦場になった。
「長州の科学技術」近代化への軌跡(第3巻)30〜45頁「幕末期萩藩におけるパン製造について」樋口尚樹(平成16年6月28日発行)幕末長州科学技術史研究会編



特集3 食べてみたくなる?

山口ゆかりの
幕末の食

Bakumatsu recipe

150年前の山口の人は
パンを食べていた?!

150年前の山口が維新の策源地だった頃から明治時代にかけて作られていた「ゆかりの食」をレシピとエピソードでご紹介します。幕末の藩主や志士、あるいはその後明治の元勳となった人たちは、いったいどんなものを食べていたのでしょうか。あなたが心惹かれるのはどのレシピですか?

監修 & 写真提供: 石永雅子
(元山口県史編さん室民俗部会専門研究員)

recipe 1

藩主・毛利敬親公の
参勤交代の時のお弁当



©やまぐち歴史研究会

殿様はもっと
豪華な弁当じゃと
思うとったわ。
わしら庶民と
変わらんわ。



（現代語訳）
明治時代のレシピ
（原文）
前略 江戸参勤の御道中の御弁当などは誠に小さな入子重でござりました。其の重の中に眞の桃位の御握飯が五ッ入れて一段は何時も椎茸、凍菓蒲鉾と云う位な物で、今一段は奈良漬で此れはおきまりの様に思ひます。

（現代語訳）
江戸への参勤交代の道中のお弁当は誠に小さな入子重でした。その中に桃くらいの大きさの握り飯が五つ、椎茸、凍みこんにやく、かまぼこくらいでもう一段には奈良漬というのが決まりだったように思います。



参勤交代の時の敬親公のお弁当についての記述が残っています。

藩主のお弁当であるからには、さぞや豪華な内容なのではという我々の想像とは裏腹に、敬親公のお弁当は上記のように非常に質素な内容となっています。しかも、このお弁当だけでなく普段の食事も基本的には一汁一菜と贅沢とは無縁の内容だったようです。なぜか。実は敬親公が藩主になった時、前二代の藩主が残した借金があり藩の財政状態は大変厳しかったのです。それで先祖様へのお供えも縮小せざるを得なかったの自分だけが豪華にするにはできないと。これは食事に限ったことではなく、生活全般において自ら率先して節約した暮らしをしていたとのこと。

では、庶民の方、諸隊の弁当はどのようなものだったのか。四境戦争の頃に山口の大内水上に出陣していた少年兵の「白木の火打ち箱のような弁当箱に、副食物がひじきと油あげが芋苗とかくろめとかを入れたものが上一般の食で誠に質素なものでございました」というような証言が記録されています。

藩主のお弁当にはかまぼこが入っているとはいえ、一般の兵とあまり変わらない内容です。

当時の人はこんな質素な食事内容で、維新の実現に向けて頑張っていたんですね……。

「防長史談會雜誌」第拾貳號(四十一頁)防長史談會雜誌第四卷(第29、38号)昭和51年発行「防長史談會編 國書刊行会」
「維新戦役実証談(復刻版)三四四頁(1994年9月10日発行)児玉如忠編 マツノ書店」

小郡のあたりでした。その歴史を紐解いてみると……。

慶応2年(1866)、松下村塾生の大賀大磨が藩に申し出てパンの大量生産を始めます。目的は兵糧でした。鳥羽伏見の戦いの頃の記録を見ると、当時の兵糧は俵にいれた握り飯で、日が経つと夏にはカビだらけになり腐って食べられなかったと書かれています。そこで、パン(といっても乾燥させた乾パン状のもの)であれば40日近く日持ちするので「備急餅」という名で兵糧にしたようです。

小郡で作られていた理由。それは、萩よりも小麦粉の値段が安かったから。故に山口でのパン製造を藩が許可したのです。その頃、桂小五郎が小郡宰判の代官宛てに「振武隊からパンを一万個ほどお売り渡しください」と言われている」と書いた手紙が残っています。四境戦争(※1)の折に石州口で戦っている隊に兵糧となるパンを送ってくださいという依頼をしているのです。つまり幕末パンは150年前にここ山口で製造されていたのです。

recipe 3

人気のレシピサイトにも掲載されている
井上馨のカクテル

……美味か?



明治時代のレシピ
《材料》らっきょう酢×甘酒
混ぜ合わせる割合はお好みで!!



明治の元勳井上馨は、山口の湯田温泉出身。彼はいろいろな料理を自ら考案し、皆さんに食べさせるのが好きだったようです。しかし、そのお味は……。井上馨の料理については、「花外楼」という料亭の女将さんがこう述べています。

「井上侯の特技中の特技は何といっても料理通であること、すばらしい()料理人であることでした。と()が、すばらしい()でも少々意味が違います。(中略)そのぜいたくぶりは天下第一でありましたが、反面世間から井上料理と恐れられたくらいで、ズバ抜けた下手趣味に徹している。これまた風変わりな点においてはまことに徹底したものでした。その特色を簡単に説明します、いわば、普通の人間にはとてみただけそうもない(ごちそう())を作って他人に食べさせ()というわけでは()」

このことは「世外井上公伝」にも記載されています。「公の趣味の中で最も堪能であつたものは割烹である。(中略)公の料理には一種異様な凝ったものが出て、客人を驚かすことが往々であった」。ここに紹介しているカクテルのほかにも、スズメや亀の卵を使用した熊笹の穂先を茹でて出したりとか創意工夫をしなければという気持が非常に強かった方のように、食べた後で客が判断がつかぬということを井上公は得意とした。楽しみとしたのである」とも書かれています。

大臣を務める人物に「どうだ?」と聞かれても、「まずい」とは言えず、それで暴走が止まらなかったのではないかと推察できますが……。ただし、彼の名譽のために言っておくと、彼の作る大根漬は非常に美味しかったらしいです。

※2/維新の志士たちが出入りしていた大阪の料亭
〔史蹟〕花外楼物語 206頁、270頁 昭和39年10月10日発行 河本實編 株式会社創元社
〔世外井上公傳〕一四、一五二頁 昭和9年9月20日発行 井上馨侯傳記編纂會 内外書精株式会社

recipe 4

明治41年に伊藤博文が
井上馨に食べさせた
アイスクリーム



©石永雅子



さて、アイスクリームと山口の関係ですが、大病を患い危篤状態になった井上馨のもとに駆けつけた伊藤博文が、看護婦が持ってきたアイスクリームを引き取って、自らの手で井上に食べさせたという記録が残っています。

「前巻の口にその一匙を入れ、そして耳をその口元に押あてて嚙下の音を聞いて居られた様子だった。『おい、今の音はグッと嚙み込んだ音だったらうがな。おぬし今のは嚙んだのかい。甘かったか。』というて、聲を放つて泣かれたのは、皆その切なる友情に唆られて、落涙しないものは無く、一室は暗澹として歎歎の聲のみを聞くのであつた。」

明治時代のレシピ
(原文)
○フラデルヒヤ、
アイスクリーム
五合のクリームに一合の白砂糖と小匙一杯半のワニラを混ぜ合せ、フリーザーに入れ固くなるまで凍らさずべし

(現代語訳)
五合のクリームに一合の砂糖と小さじ一杯半のバニラを混ぜ合わせて、フリーザーに入れて固くなるまで凍らせる。

当時の一般家庭には冷蔵庫はありませんので、アイスクリームを食べられるというのはかなり贅沢なことですが、このお二人は大臣クラスの政治家ですから、その環境にあったであろうと考えられます。このエピソードにみられるように井上馨と伊藤博文は晩年に至るまで非常に仲が良かったそうです。そして、この時危篤だった井上はその後持ち直し、先に伊藤の方が暗殺で亡くなってしまう。井上は、その伊藤の死を大層悲しんだそうです。

ちなみに、ご紹介している明治時代のアイスクリームは生クリームに砂糖を入れて凍らせたものなので、実際に作って食べてみると非常に甘いものになっています。
〔伊藤博文傳〕七九八〜七九九頁 昭和15年10月16日発行 春秋社
〔常備西洋料理〕123〜124頁 明治37年 ポーカス書
常盤社発行「近代料理集成 第一巻」平成24年 江原陶子編集 クレス出版

recipe 5

福沢諭吉と萩藩士松岡勇記との
友情のマルマレット

萩の夏みかんが山口と関係あるなんて、びっくりじゃ!



©石永雅子



明治時代のレシピ
(原文)
◎マルマレット

又かの皮は裡面の綿のやうなる處を去り、表面の方を細に刻み、能くうでこぼして大抵苦味を除き、一夜水にひやして更に砂糖を入れて能く能く煮詰めし後、所謂マルマレットと爲り、之をパンなどに付けて用ひ誠に結構なり。マルマレットとはジャムの一種、西洋にてはラレンチの皮にて製するものにして、舶來屋にて買へば(註)此處に直径一寸七分高さ二寸五分ぐらゐの圓筒錫の略圖あり)此位の錫にて二十五錢位の小賣りなり、馬鹿に高きものに御座候。(中略)但し砂糖は思切て澤山に用、凡そ皮のうでたるものと當分位に致し、或は水飴を少し混ぜるも可なり、随分面白き調理に御座候。

(現代語訳)
◎マルマレット

夏みかんの皮は内側の白い綿のような部分を取って表面の方を細く刻み、茹でこぼして苦味を取る。それを一晩水で冷やしてから砂糖を入れて能く煮詰めると「マルマレット(=マーマレード)」になる。これをパンなどにつけると大変結構である。マルマレットとはジャムの一種で西洋ではオレンジの皮で作るものである。舶來屋で買えば直径一寸七分高さ二寸五分ぐらゐの円筒形のもので二十五錢ぐらゐの値段で、馬鹿に高いものである。(中略)但し砂糖は思い切ったくさん用いること。だいたい皮を茹でたものと同じくらいの量が多い。あるいは水飴を少し混ぜるとよい。とても面白い調理である。

夏みかんの生産を流行らせた人は山口市出身の小幡高政という人でした。つまり、萩の夏みかんの父ともいえる人物は、山口市の出身だったのです。さて、当時お砂糖は高級品でした。甘いものは当時の子どもたちにとって大御馳走だったので。福沢が松岡に送った手紙には、「送ってもらった夏みかんを子どもたちは揃って毎日毎日大喜びで食べた」とも書かれています。

〔福沢諭吉傳〕第一巻二二頁 昭和7年2月10日発行 石河幹明著 岩波書店

この記事は、山口市立中央図書館・山口市歴史民俗資料館主催で2017年8月20日に行われた石永雅子氏の講演、やまぐち歴史講座2017講演会「食べてみたくなる? 山口ゆかりの食の紹介〜殿様のフルコースから幕末スイーツまで」の内容を再編集・抜粋して掲載しています。

明治維新150年を記念した「歴食」関連のイベントも開催されます。

ウォーキング & グルメイベント

「古地図を片手に幕末の山口を歩こう! ×毛利敬親の参勤交代弁当を味わおう!」

【開催日時】7月21日(土)9:30~13:00

【講師】山口県立山口博物館学芸課長・山田稔、山口歴食研究会会員

【巡見コース】山口県立美術館~旧山口藩庁門・香山墓所・壱小路周辺~山口市菜香亭(予定)

【定員】ウォーキング+食事コース25名、食事のみコース20名(予定)

※要事前申込み、応募者多数の場合は抽選

【参加費】2000円(予定)

※イベント内容は変更になる可能性もあります。詳細は、開催日近くになりましたら「山口市菜香亭」のホームページ等でご確認ください。

山口市菜香亭 検索

これぞ粋!!
京の民は長州びいき。
お菓子でこっそり
応援するの巻

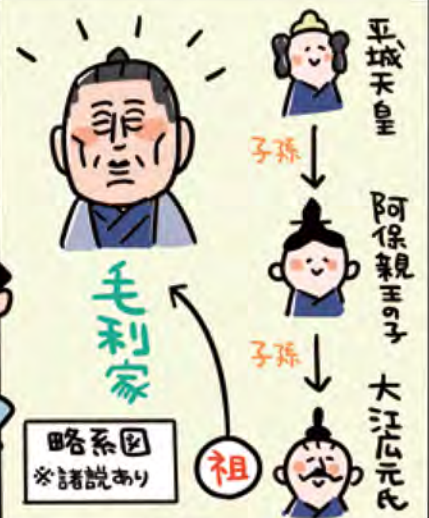
禁門の変の後、朝敵とされてしまった長州藩を
食べ物にことよせて京の民が密かに応援したと
いうお話です。



文久3年(1863)

八月十八日の政変により
尊攘派の公家とともに
京を追われることになった
長州藩

七卿落ち



長州さんは江戸の初めから今までずーっと京におわす天皇さんへのご挨拶も欠かされへんしな
お元氣でしたか
お野のとき...

最近急にやってくる我が物顔で京の街を歩くお武家さんとはそらお違いや!

このお話は、それから少し後の禁門の変(1864年)の頃に京都で流行したという「おはぎ」のお話です

ほお
これが最近評判の「おはぎ」かいな
へえ
そうでおす
おいで
おはぎ
ほお
こりやまたいい形に並べてはりますなあ。一ついたただこか

おおきに三十六文どす
三十三万...いや三十六文とな! そらちよつと負けてもらわれへんか?

すんまへんなあこれは一銭(戦)も負けぬへか、のんです
そやつたなあそら氣張つてもらわな、な
まいど おおきに~~~~
おはぎは子どもから大人まで皆、お好きでおすやろ誰がいつ買うてもおかしいし
けど、おはぎは子どもから大人まで皆、お好きでおすやろ誰がいつ買うてもおかしいし

ここだけの話
うちら京の者は尊皇派の「長州びいき」やし
ほんでなんちゆうても長州さんは元々が天皇さんのご親戚やし

そんな長州さんがこないだの八月に京を追い出されてしまわはった...
うちら京の者はそれが残念で、長州さんを応援したいんやけど...
なにせ幕府の役人が見張つてはるから...
これはな、うちらがこっそり幕府に隠れて長州さんを応援するツールなんや

実はな、おはぎいうんは長州藩(萩藩)の「はぎ」にかけてるんや
それにこれ見とくれやすこの形!!
長州さんの家紋にそっくりやし
ほんで お代の三十六文は萩藩、三十六万石のことや
一銭も負けへんって言うてるのは、つうの調(てい)でいも負けへんてえーと云うてるのと同じですな
おはぎは子どもから大人まで皆、お好きでおすやろ誰がいつ買うてもおかしいし
けど、おはぎは子どもから大人まで皆、お好きでおすやろ誰がいつ買うてもおかしいし

そうゆうて売つて買つてもらうのがお作法になつてますのえ
すんまへんなあこれは一銭(戦)も負けぬへか、のんです
そやつたなあそら氣張つてもらわな、な
ほんま、京の者は長州さんに氣張つてもうて天皇さんの新しい世をつつて欲しいねんや
そやからこうやって幕府を欺いて応援してますのや
幕末の京で流行つた「長州おはぎ」
最近、季節限定で復活させている和菓子屋さんが京都にあるとか

※この物語は史実をもとにしたフィクションです。



続いて...
SPOT 02

旧山口藩庁門

幕末に藩庁が萩から山口へ移った後、藩庁から県庁へと名称は変わりましたが、山口の政治の中心は現在までずっとこの地に置かれることになりました。この門は明治4年まで当時の藩庁の本門として使われたもので、山口県の重要文化財に指定されています。

📍山口市滝町1
■見学自由

幕末にタイムスリップしたみたいでしょ！セーラーと構えた重厚感たっぷりの門！維新の志士たちもこんな感じだったのかなと想像しながら、キリッと決めポーズ！



まずは...
SPOT 01

山口市菜香亭

明治10年頃から平成8年まで営業し、井上馨や伊藤博文など多くの政治家に愛された料亭・菜香亭。その建物を平成16年に現在地に移築復元したのが山口市菜香亭です。館内には、井上はじめ山口ゆかりの政治家たちの扁額が数多くかかり、一年を通じてさまざまな催しものが行われています。また、予約をすればからだひとつで気軽に体験できる着物レンタル&着付けサービスが人気です。

着物レンタル&着付けサービス

- 前日までに山口市菜香亭に要予約
- レンタル料金/2時間未満2,800円、2時間以上3,500円
- ※着付け時間(30分~60分程度)は含まず。



☎083-934-3312
📍山口市天花1-2-7
■開館時間/9:00~17:00
■休館日/火曜
(祝日の場合は翌日)、年末年始
■駐車場あり
■入館料/100円

AKB48チーム8 & STU48



**明治維新の策源地
山口に行ってみたよ♡**

明治維新150年を迎え、今アツク燃えている?! 山口にどんなオススメスポットがあるのか。山口にゆかりのあるアイドルメンバー3人がゆかりの地を訪ねてみました。



お次は...
SPOT 03

香山公園

国宝 瑠璃光寺五重塔のある香山公園内には、枕流亭のほかにも明治維新関連の史跡が点在しています。藩庁内にあった茶室を移築した露山堂は、幕末の藩主・毛利敬親が茶事にことよせて会談した場所。また、敬親公夫妻や世子・元徳夫妻などが眠る香山墓所は国の史跡に指定されています。

五重塔も、かっこよかったなよ!



SPOT 04

**香山公園内
枕流亭**

西郷隆盛さんも枕流亭に来て、日本の未来について、いろんな話し合いを行ったんだって! この2階から見える五重塔も綺麗だったよ!

幕末、薩摩藩の小松帯刀や西郷隆盛らが山口を訪れた際に、山口の豪商・安倍家の離れであった枕流亭で木戸や広沢など長州藩士らと会合を持ったと伝わります。元々は安倍家のあった萩往還に近い町なかに建っていましたが、その後何度か移築を繰り返し、修理されて現在の地に落ち着きました。

■開館時間/9:00~17:00
【香山公園】
📍山口市香山町7-1
■年中無休 ■駐車場/あり ■見学自由



【私のお気に入りココ!】

廊下から見られる中庭の景色が綺麗でした!そして袴は今回が初経験!本格的な着付けしてもらって、とっても心に残りました!!



アート維新! YCAM 15周年

ART ISHIN
YCAM 15th

山口市の中心部、中央公園の隣の山波型の屋根が印象的な建物が、山口情報芸術センター=YCAM（ワイカム）。山口市が全国に誇る先進的で個性的な、だけど親しみやすいアートセンターです。その特徴「メディア・テクノロジーと芸術のコラボ」とは何か、探ってみました。



井上公園

そして温泉
SPOT05

明治の元勳・井上馨の生家跡につくられた公園。井上の銅像はじめ、七脚の碑、湯田温泉ゆかりの詩人・中原中也の詩碑、俳人・種田山頭火の句碑などがあります。園内に建つ「何遠亭」は、七脚落ちの際に三条実美が宿舎にした井上邸の建物をイメージして新しく建てられたものです。

- 山口市湯田温泉 2-5
- 足湯利用時間 / 10:00～22:00 (利用無料)
- 何遠亭 / 開館時間 9:00～17:00
- 休館日 / 水曜
- 見学自由



湯田には、京都から落ち延びてきたお公家さんでしはらくいたんぽって。湯田温泉のお湯につかったのかな?



白狐アイスやカフェラテもおいしかったなよ

【私のお気に入りココ!!】
今回外湯での撮影は夕方だったけど、朝や昼に見られる景色もステキ!寒い季節には体が温まるので足湯は最高です!疲れも取れました。また来たいです。

最後は
SPOT06

湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」

湯田温泉や山口の観光&グルメなどの情報が収集でき、館内には趣の異なる3つの足湯やギャラリースペースがあるほか、県産ジュースや山口地酒好き酒セットなどが楽しめるカフェもあります。



- ☎ 083-921-8818
- 📍 山口市湯田温泉 2-1-3
- 営業時間 / 8:00～22:00
- 年中無休
- 駐車場あり (徒歩5分)
- 入館無料。足湯利用は有料。大人 200円、小中学生 100円



SLやまぐち号 検索
<http://www.c571.jp>

鉄道好きの私はSL「やまぐち」号も大好き!あの汽笛に心が振るわされます!いつかまた乗りたいなよ

[PROFILE]

 下尾みう (したお・みう) 2001年4月3日生。 AKB48チーム8山口県代表メンバー。	 岩田陽菜 (いわた・ひな) 2003年2月21日生。 STU48メンバー。	 瀧野由美子 (たきの・ゆみこ) 1997年9月24日生。 STU48メンバー。
--	--	--

■ AKB48 チーム8
「会いに行くアイドル」をコンセプトに、全国47都道府県で開催された〈AKB48 Team 8 全国一斉オーディション〉によって各都道府県から1人ずつ47名が選出された。

■ STU48
国内6番目のAKB姉妹グループとして2017年3月に誕生。「瀬戸内」エリアを本拠地とし、「1つの海、7つの県(兵庫・岡山・広島・山口・愛媛・香川・徳島)」を股にかけるAKBグループ初の広域アイドルグループ。瀬戸内(SeToUchi)の頭文字からSTU48と命名。2018年1月、メジャーデビューシングルを発売。



撮影:古屋和臣



撮影:古屋和臣

同じく2017年12月〜2018年3月に開催された「布のデミウルゴスー人類」として布とは何か?」は、西陣織の老舗と慶応義塾大学・寛康明研究室、アーティストの古舘健氏、YCAMが「人類にとって布とは何か」というテーマで共同研究してきた新しい布、そして、美術家の吉田真一郎氏が収集し、展示構成した大麻布群を公開する作品展でした。こちらも

【研究者・制作者の組み合わせも斬新!】

同じく2017年12月〜2018年3月に開催された「布のデミウルゴスー人類」として布とは何か?」は、西陣織の老舗と慶応義塾大学・寛康明研究室、アーティストの古舘健氏、YCAMが「人類にとって布とは何か」というテーマで共同研究してきた新しい布、そして、美術家の吉田真一郎氏が収集し、展示構成した大麻布群を公開する作品展でした。こちらも

【テーマパークにも負けないワクワク体験もできる!】

YCAMが重視しているのは「ともにつ

【メディア・テクノロジーとアートのコラボって?】

YCAM(ワイカム)の愛称で知られる山口情報芸術センターは、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現を探求し続けるアートセンター。

メディア・テクノロジーといえば、コンピュータや通信技術、映像など、まさに現代生活に欠かせない要素ばかり。これらの技術に支えられた情報なくしては、今や日常生活も社会も成り立たなくなっています。

片や、芸術アートは、心を楽しみを届け、人生を豊かにしてくれる魅力的な世界。かつては限られた人々(音楽や美術などを制作したり、観賞・理解することに長けた人たち)だけのもの...というイメージが強かったかもしれないが、本来は、求めれば誰もが楽しめ、感動を味わわせてくれるもの、それが芸術アートのはずです。

YCAMは、そんなメディア・テクノロジーと芸術を結びつけ、これまで以上に気軽に楽しく、深い感動をもたらしてくれる施設として2003年11月にオープンしました。館内には展示空間のほか映画館、図書館、ワークショップスペースなどを併設し、各種展覧会や公演、映画上映、子ども向けのワークショップなど多彩なイベントを開催しています。

くり、ともに学ぶ」姿勢です。その特徴は、YCAMを中心としたさまざまなバックグラウンドの人々とコラボレーションをおこないながら、作品やワークショップなどを制作している点にあります。

たとえば2017年12月〜2018年3月に開催された大脇理智+YCAMによる展覧会「The Other in You」わたしの他の者」は、ダンスにバーチャル・リアリティ(VR)技術を取り入れた作品として話題を呼びました。ダンスの動きを最新コンピュータグラフィックスを使って映像化し、立体音響を加えた作品は、アーティスト、ダンサー、プログラマー、音楽家など、各分野のスペシャリストが集結して完成させたもの。まさにメディア・テクノロジーとアートのコラボ作品です。そして鑑賞者は、会場内でヘッドセットを装着し、自身もダンサーと同一空間にいるような感覚が味わえる仕組み。ヘッドセットを着けると、360度で展開する映像の迫力と不思議な感覚に圧倒され、メディア・テクノロジーを駆使した新しいアートの魅力を実感することができました。観賞者は、テーマパーク顔負けの興奮を味わえたのです。

(p.40写真)「The Other in You わたしの中の他の者」(p.39写真)右から、2003年に発表したラファエル・ロサノ=ヘメルによるインスタレーション作品「アモータル・サスペンションー飛び交う光のメッセージ」(撮影:高橋和海)、2008年に発表した大友良英+高嶺格+多数のミュージシャンによるインスタレーション作品「Orchestras」(撮影:丸尾隆一[YCAM])、2013年に発表した坂本龍一+野村萬斎+高谷史郎による能楽コラボレーション「LIFE一WELL」(撮影:丸尾隆一[YCAM])

分野の違うスペシャリストたちのコラボを目の当たりにする内容で、日本の伝統工芸・西陣織の技術をマイクロスコープで観察する展示手法などがとられていました。

展示された西陣織の老舗メーカーと共同で研究開発された布。コンピュータ・プログラムや新規素材が導入された実験が行われた(写真上・中)。美術家の吉田真一郎氏が収集し、展示構成した大麻布群。白一色の布が並べられているがそれぞれ色差がある(写真下)



研究開発プロジェクトを8つのカテゴリーから紹介したトークセッションの一場面

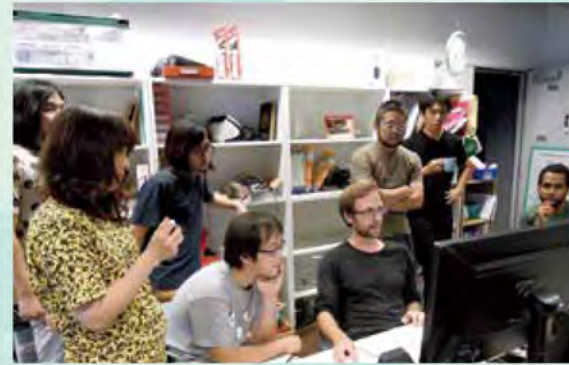
撮影:古屋和臣

「YCAM オープンラボ」で知る身近で、頼もしいYCAM!

YCAMの活動をより具体的に知ることができるのが、年に一度のイベント「YCAM オープンラボ」です。その2017年度として12月15日から3日間に渡って開催された「HELLO・YCAM」を訪ねてみました。

期間中、特に目を引いたのは8つのトークセッション。現在YCAMで進められている研究開発プロジェクトのうち、「映画」「身体」「地域」「バイオ」「学び」「布」「音楽」「インスタレーション」作品の修復の8カテゴリーから活動内容を紹介するものです。各カテゴリーに関連するプロジェクトスタッフがアーティスト

「YCAM オープンラボ」で知る身近で、頼もしいYCAM!



YCAMインターラボでの制作の様子。インターラボには、エンジニアやキュレーターなど、様々なスキルを持ったスタッフが25名ほど所属している

活動を支える YCAM インターラボ

こうした展覧会に限らず、YCAMの活動にはさまざまな分野のスペシャリストたちのコラボ、さらにYCAM自体がそれに加わるという態勢が整っています。YCAMには「YCAM インターラボ」という独自の研究開発チームがあり、その存在こそがYCAMのユニークな活動を支えているのです。

YCAMインターラボは、キュレーター、エディタ、エンジニア、デザイナーなどさまざまなスキルを持ったスタッフにより構成されています。そしてアーティスト、研究者、エンジニアらの専門家や市民とのコラボレーションを行いながら、研究や作品制作、ワークショップ、成果発表、教育プログラムの実施など幅広い活動を展開しています。

2012年から展開している子どもたちの遊び場「コロガル公園シリーズ」も、実はYCAMインターラボの研究開発の成果を応用して生み出されたものの一つです。波のように



HELLO.YCAM! の初日に開催されたライブコンサート「AID vs HumanDJ」。人工知能のDJ (AID) と、人間のDJが交互に曲をかけ合いながら、フロアを盛り上げていく

撮影:谷康弘

トや研究者と共にプロジェクトのプロセスや展望について語り合いました。

たとえば「地域のセッション」では、YCAMが2014年から「YCAMの知見を用いた地域の価値や素材の発見」と「YCAMのリソースを用いた人の育成を指して、さまざまな取り組みを重ねて来たことが語られました。そのきっかけの一つは、アジアの若手アーティストと市民との協働により開催された展覧会「地域に潜るアジア」参加するオープンラボトリ」でした。さらに今後についても「地域の中に新しいコミュニティを投入することで地域の中から生き延びる術を編み出していく」というミッションが確認され、メディア・テクノロジーにまつわる知識や経験を、地元・山口の文化的躍進に生かしていこうというYCAMの意気込みが伝わってきました。



2014年に開催された「地域に潜るアジア」参加するオープン・ラボラトリー」展の会場風景

撮影:丸尾隆一(YCAM)

続く「バイオ」のセッションでは、2015年から始まった「YCAMバイオリサーチプロジェクト」がこれまでに「細胞と遺伝子」「森のDNA図書館」「パンと酵母」などをテーマに研究成果を発表してきたことが紹介されました。バイオテクノロジーについてかみ砕いて解説し、身近に感じることでその内容から、市民に寄り添う活動手法に努めるYCAMの姿勢が伝わってきました。同時に、メディア・リテラシーとバイオテクノロジーの結びつき方に関して「わからないことへの恐怖は、知ることによって冷静に受け入れられるようになる」という信念も語られ、「エモにつくり、ともに学ぶ」を先導する専門機関としてのYCAMの存在が、改めて頼もしく感じられました。



撮影:丸尾隆一(YCAM)



撮影:丸尾隆一(YCAM)

2012年からさまざまな形を変えて開催されている「コロガル公園シリーズ」。2013年には「コロガルパビリオン」、2016年には「コロガルガーデン」として開催された

うねった床の広場には随所にメディア・テクノロジーが用いた仕掛けが埋め込まれ、子どもたちがのびのびと動き回り、自由な発想で遊びを創造していく姿が見られました。このプロジェクトは、山口市を中心に全国で展開して多くの子どもたちに喜ばれ、最高来場者は5万人を数えました。



撮影:山中慎太郎(Qsyumi)

撮影:大林直行(101 DESIGN)

山口情報芸術センター[YCAM] 2018年度事業のご案内

新しいコロガル公園からバイオまで
YCAM15年の蓄積が花開く、2018年度の多彩なプログラム

- 展覧会

三宅唱 + YCAM 新作インスタレーション展
ワールドツアー …………… 4月21日(土) ~ 5月27日(日)

映画監督の三宅唱と YCAM の共同制作による新作インスタレーションを発表する展覧会です。
- イベント

第3回 未来の山口の運動会 …………… 5月6日(日)

[YCAM スポーツ・ハッカソン 2018]で生み出された新しいスポーツを体験する運動会形式のイベントです。
- 展覧会

コロガル公園 commons …………… 7月21日(土) ~ 10月28日(日)

YCAMが2012年から毎年手がけている、多種多様なメディア・テクノロジーを埋め込んだ子ども向けの遊び場「コロガル公園シリーズ」の最新版です。



コロガル公園 (2012年)
- 展覧会

メディアアートの輪廻転生 …………… 7月21日(土) ~ 10月28日(日)

ニューヨークを拠点に活躍するアートユニットのエキシニモをゲストキュレーターに迎えて開催する展覧会です。
- 映画

真夏の夜の星空上映会 …………… 8月10日(金) ~ 12日(日)

隣接する中央公園で開催する毎年恒例の野外上映イベントです。



真夏の夜の星空上映会 (2017年)
- 映画

YCAM爆音映画祭2018 …………… 8月18日(土) ~ 26日(日)

繊細な大音響で映画を体験することで、これまでにない映画体験を創造する「爆音映画祭」のYCAM版です。
- 公演

グルーボ・ヂ・フーア ダンス公演 イノア …………… 9月1日(土)、2日(日)

ブラジルを拠点に活動するダンスカンパニーのグルーボ・ヂ・フーアによるダンス作品を紹介する公演です。
- イベント

YCAMオープンラボ2018 …………… 10月6日(土) ~ 8日(月)

シンポジウム、ワークショップ、展覧会、パフォーマンス、映画上映などを通じて、YCAMの研究開発活動を体験できる複合型のイベントです。
- 公演

イスラエル・ガルバン+YCAM 新作ダンス公演 …… 2019年2月2日(土)、3日(日)

スペインを拠点に活躍するダンサーのイスラエル・ガルバンとYCAMのコラボレーションによる新作ダンス作品を発表する公演です。
- イベント

YCAM InterLab Camp vol.3
パーソナル・バイオテクノロジー …………… 2019年3月1日(金) ~ 3日(日)

ますます身近になるバイオテクノロジーの応用に必要となるツールやテクニックを国内外からあつまった参加者とともに学ぶ集中ワークショップです。
- イベント

未来の山口の授業 at YCAM …………… 6月~12月

YCAMがこれまでに開発した教育プログラムに触れるイベントシリーズです。
- 映画

YCAMシネマ …………… 週末を中心に開催

映画をきっかけにメディア・テクノロジーを用いた表現のエッセンスの一端に触れられるよう、さまざまなジャンルの映画の上映をおこないます。

※各イベントの詳細な日時やチケットの有無などは、YCAMのウェブサイトをご確認ください。

「オープンと コラボレーション」で 豊かな日々をリード

「HELLO, YCAM!」では、この他にもワークショップ、映画上映、YCAM探検ツアー、ポップアップショップ、パネル展示、交流パーティなどが行われました。パネル展示では、YCAM開館以来のインターラボの活動が映像で紹介されました。またポップアップショップでは「さわられるYCAM、もち帰れるYCAM」をテーマに、オリジナルTシャツやステッカーに加え、山口の食材を使ったパンとスープも販売。特に「バイオのトークセッション」でも話題になったゲノム弁当は、午前中に売り切れという人気ぶりでした。さらに映画上映では映画制作プロジェクト「YCAM Film Factory」で制作した映画が一挙公開されました。買い物も映画観賞も楽しめる欲張りイベントだった



撮影:古屋和臣

わけです。YCAMのエキスがギュッと詰まった3日間、「ともにつくり、ともに学ぶ」YCAMの活動姿勢を生き生きと伝えてくれました。それは「オープンとコラボレーション」とも言い換えられるものです。YCAMは、いつだって私たちのすぐそばにある、開かれた身近な施設。だけど、常に専門性と先端技術を備え、そこに新しさを盛り込むために他分野とも柔軟に手を携え、わかりやすく、楽しく私たちをリードしてくれるアートセンターなのです。今よりもっと豊かな時間・もう少しだけ芸術や文化にも近づき、新しい情報技術にも親しみを感ずる日々を過ごしたい方にお薦めのYCAM。山口市が全国に誇るアートセンターです。



YCAMが実施しているプロジェクトをパネルと映像展示で紹介(写真上)。普段は見ることのできないバックヤードを巡ったYCAM探検ツアー(写真中)。来館者の人気を集めていたポップアップショップ(写真中下)。「YCAM Film Factory」で制作された「ギ・あいうえお 他山の石を以て己の玉を磨くべし」の一場面(写真下)



【お問い合わせ先】
山口情報芸術センター[YCAM]
☎ 083-901-2222
〒753-0075 山口市中園町7-7
URL <http://www.ycam.jp/>

- 開館時間 / 10:00 ~ 20:00 (夜間イベントのある日は22時まで開館)
- 休館日 / 火曜 (祝日の場合は翌日)、年末年始
- 交通アクセス
- 新山口駅からバス約30分、情報芸術センター前下車すぐ。
- JR湯田温泉駅、JR山口駅から徒歩約25分。タクシー利用の場合約5分

写真提供:山口情報芸術センター[YCAM]



撮影:古屋和臣

山口市で、あなたのやりたいこと
かなえませんか？



地方移住を考えている方に。仕事視点で山口市への移住を支援するガイドブックができました！

「やまぐち就農物語」
「やまぐち創業物語」

山口市への移住をお考えの方、必見のガイドブックが完成しました。

2冊のガイドブックには、それぞれ創業や就農までの流れ、補助・支援制度の一覧、相談窓口、山口市に移住し創業や就農した方々の体験談などを掲載。仕事視点で地方移住を考える方に大変役立つ一冊となっています。仕事視点の移住支援ガイドブックは今後、地方移住によるセカンドキャリアを考える方向けのものも発行予定です。

既刊の「すむむ山口」はじめ、山口市への移住ガイドブックは首都圏等で開催されるU-Jターン関連イベント等で配布するほか、直接入手ご希望の方は左記お問合せ先までご連絡いただければ郵送いたします。

【お問い合わせ先】
山口市定住促進課
☎083-934-4646
E-mail: teiju@city.yamaguchi.lg.jp
すむむ山口 検索
山口市移住ホームページ
http://www.sumusumuyamaguchi.jp



「月夜の浜辺」「月のふくろう」
【販売価格(税別)】720ml/1450円、300ml/550円

夜はライトアップされるので、昼間とは違った雰囲気味わえます。



【お問い合わせ先】
湯田温泉観光回遊拠点施設
「狐の足あと」
☎083-921-8818
狐の足あと 湯田 検索
http://www.yuda-onsen.jp



「山口銘酒文学セット」
【販売価格】500円(税別)

「狐の足あと」カフェで好評です!!

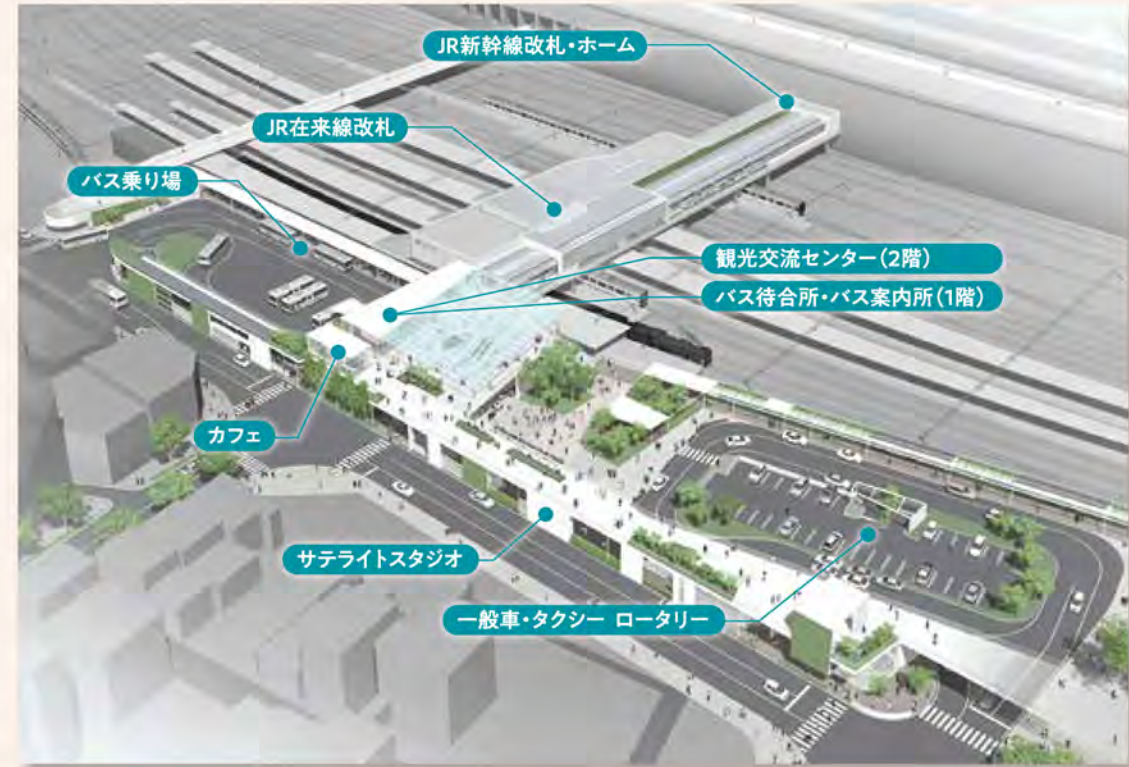
『山口銘酒文学セット』

2017年春から湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」カフェで販売中の地酒のお試しセット「山口銘酒文学セット」が好評です。

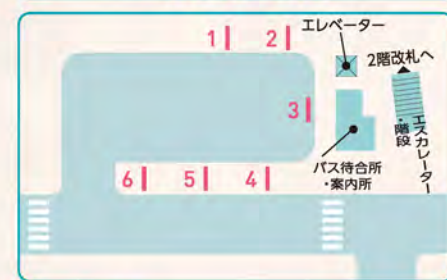
これは、山口市内の酒造会社「山口市ゆかりの文学者」とその作品名を冠した新銘柄「純米吟醸(西都の雲)月のふくろう」種田山頭火と「純米吟醸(山田錦)月夜の浜辺」中原中也を同年3月にリリースしたことをきっかけに、地元産品のPRの一助になればと「狐の足あと」でも販売されることになったものです。

中原中也は「狐の足あと」向かいの生家跡に記念館が建つ日本を代表する詩人であり、自由律俳句で知られる山頭火も山口の湯田温泉で一時期庵をむすび句作をしていました。これに、正岡子規の俳句「瀬祭書屋主人」が由来という山口県岩国市の酒「瀬祭」を加え文学セットと謳って提供したところ、カフェで一番人気のセットとなっているそうです。「狐の足あと」でのお試しでお気に入りの場合、これらの地酒は山口市内の酒販店等でも購入できます。

新山口駅 北口駅前広場オープン



バス乗場ご案内



バス停(方面別)

- 1 宇部空港・宇部新川駅・阿知須方面
- 2 秋芳洞・萩方面
- 3 防府駅・秋穂方面
- 4 維新公園・湯田温泉・県庁・宮野方面
- 5 平川・県庁・博多方面
- 6 長門方面

「魅力あふれる駅空間」「まちと駅をつなぐ駅前広場0番線」をコンセプトに整備が進められてきた新山口駅北口駅前広場が竣工し、2018年3月オープンしました。

新しくできた北口駅前広場には、案内所と待合室を備えたバス乗り場を新設。エレベーターやエスカレーターにも近く、新幹線・JR線からの乗り換えがより分かりやすく便利になりました。また、山口県内の観光や特産品に関することや県内開催のスポーツ・文化イベントなど多彩な情報を発信する「観光交流センター」が2階に、山口産の素材を使ったスイーツや地酒など山口の食が楽しめる「カフェ」が2階にオープン。北口駅前広場オープンにより快適・便利に、楽しさも加わった新山口駅。魅力あふれる駅空間で多くの皆さまのお越しをお待ちしています。

新幹線での山口市へのアクセス



新しくなった駅前広場！
人と人、人とまちをつなぐ
情報発信の場に！

【お問い合わせ先】
山口市都市整備課
☎083-934-2937
山口市交通政策課
☎083-934-2729



2018シーズン 選手名鑑

※2018年3月1日現在の登録選手

GK(ゴールキーパー) MF(ミッドフィールダー)
DF(ディフェンダー) FW(フォワード)

明治150年 山口の誇りを胸に 蹴球維進 2018



1 村上昌謙 [GK] 17 吉満大介 [GK] 33 山田元氣 [GK] 44 藤嶋栄介 [GK] 2 坪井慶介 [DF]



3 渡辺広大 [DF] 4 福元洋平 [DF] 6 前貴之 [DF] 13 楠本卓海 [DF] 16 瀬川和樹 [DF]



21 廣木雄磨 [DF] 26 ヘナン [DF] 30 ミンキョンジュン [DF] 5 佐藤健太郎 [MF] 7 大崎淳矢 [MF] 8 小野瀬康介 [MF] 11 鳥養祐矢 [MF]



14 高柳一誠 [MF] 15 池上丈二 [MF] 20 清永丈瑠 [MF] 28 高橋啓晟 [MF] 29 三幸秀稔 [MF] 32 丸岡満 [MF] 40 糸井岬 [MF]



41 廣田隆治 [MF] 9 岸田和人 [FW] 18 高木大輔 [FW] 19 オナイウ阿道 [FW] 24 山下敬大 [FW] 27 大石治寿 [FW] 霜田正浩 [監督]

スタジアム(ホームゲーム会場) 維新みらいふスタジアムのご案内

ACCESS

① 駐車場には限りがあります。できるだけ、公共の交通機関をご利用ください。

JR山口線で
JR山口線 約13分・210円 大歳駅 徒歩 約1km・約10分 維新公園

バスで
防長バス/約18分・430円 維新公園
防長バス/約5分・200円 維新公園

タクシーで
約20分・3,000円程度 維新公園
約6分・1,000円程度 維新公園

車で
中国自動車道小郡ICから 約4km 維新公園
中国自動車道山口ICから 約12km 維新公園
新山口駅から 約9km 維新公園

大歳駅から主要駅まで、レノファカラーのオレンジの道しるべがあります。

エンブレムや「レノ丸」がデザインされたオレンジのラッピング列車が山口線を中心に山陰本線や山陽本線などを走ります!

山口市は、 レノファ山口FCのホームタウン!

応援しています!!
RENOFA YAMAGUCHI FC
レノファ山口FC

山口市では、スポーツを通じたまちづくりを進めています。
本市をホームタウンとする山口県初のプロサッカークラブ「レノファ山口FC」を応援してください。

2018明治安田生命J2リーグ試合日程表

山口市でのホームゲーム(維新みらいふスタジアム)開催日

節	開催日	KICK OFF	対戦相手
1	2月25日(日)	15:30	ロアッソ熊本(4-1勝ち)
2	3月4日(日)	15:00	愛媛FC(0-0引き分け)
5	3月21日(祝)	15:00	ツエーゲン金沢(2-2引き分け)
6	3月25日(日)	15:00	松本山雅FC(2-2引き分け)
8	4月7日(土)	15:00	大宮アルディージャ
11	4月28日(土)	15:00	アルビレックス新潟
14	5月12日(土)	15:00	東京ヴェルディ
18	6月9日(土)	19:00	ファジアーノ岡山
21	7月1日(日)	19:00	横浜FC
24	7月21日(土)	19:00	水戸ホーリーホック
26	7月29日(日)	19:00	FC町田ゼルビア
28	8月12日(日)	19:00	徳島ヴォルティス
29	8月18日(土)	19:00	京都サンガF.C.
31	9月1日(土)	未定	ジェフユナイテッド千葉
32	9月9日(日)	未定	モンテディオ山形
34	9月22日(土)	未定	大分トリニータ
37	10月13日(土)	未定	アビスパ福岡
39	10月28日(日)	未定	栃木SC
41	11月11日(日)	未定	ヴァンフォーレ甲府



※2018年3月1日現在、山口市での開催が決定している試合のみ掲載

座席図・価格表 (円・税込)

座席種別	前売	当日	シーズンパス	
VIP席(指定)	4,000	4,500	70,000	
MS席(指定)	3,500	4,000	60,000	
MA席(指定)	3,000	3,500	50,000	
MB席(自由)	一般	2,600	3,100	42,000
	小中高	1,500	2,000	24,000
MC席(自由)	一般	2,400	2,900	38,000
	小中高	1,400	1,900	23,000
BS席(指定)	一般	2,200	2,700	35,000
	小中高	1,200	1,700	18,000
BA席(自由)	一般	2,000	2,500	30,000
	小中高	1,200	1,700	18,000
ホームゴール裏席(自由)	一般	1,500	2,000	24,000
	小中高	1,000	1,500	16,000
アウェイゴール裏席(自由)	一般	1,500	2,000	-
	小中高	1,000	1,500	-



■チケット発売/試合前月の第一土曜日 ■対象試合/2018明治安田生命J2リーグ ホームゲーム全試合 ※天皇杯、J1昇格プレーオフは対象外
 ■2018シーズンパス特典/①ワンタッチパス機能付き「WAONカード」 ②一般開門より30分先行入場 ③限定イベント開催 ④すぐにドリンクが購入できる専用レーンを設置 ⑤維新150年限定デザインの情報カード ⑥DAZN年間視聴パスと一緒に購入すると、シーズンパス2,000円割引
 ◆前売件は、コンビニエンスストアやレノファ山口アンテナショップ等で販売しています。
 詳細はホームページ(<http://www.renofa.com/>)をご覧ください、レノファ山口FC(☎083-941-6792)までお問い合わせください



山口ゆめ花博

山口きらら博記念公園

会期 2018年9月14日(金) - 11月4日(日)

明治維新150年記念事業
第35回全国都市緑化やまぐちフェア

この秋、「山口」から開花する、未来への種まき。150年を振り返り、次の150年につなぐ「山口ゆめ花博」が開催されます。1000万の花が彩る「ゆめの未来公園」を山口で体感してみませんか？



② 花の谷ゾーン

国際園芸博覧会で金賞受賞の山口県オリジナルのユリ「プチプラン」「プチルナ」も登場!!

① ウェルカムゾーン

「期待ふくらむアプローチ」

たくさんのお花で期待感を高めるメインゲート。子どもたちが育てた花が皆さんを出迎えます。

② 花の谷ゾーン

「咲き誇る1000万の花」

緑化フェアのメインとなる大花壇、夢の庭園があります。圧倒的な数と美しさの花々で彩られた非日常の花景観が出現。五感が喜ぶ、さまざまな花体験プログラムが用意されています。

③ 庭のパビリオンゾーン

「庭の新しい魅力に出会う体験」

造園会社や農業高校等からの庭づくりの提案をはじめ、来場された皆さんの庭づくりを生かせるヒントやアイテムなども紹介。また、お茶を飲みながらくつろぐ庭や暮らしを彩る未来提案の庭などが体感できます。



③ 庭のパビリオンゾーン



① ウェルカムゾーン



⑤ 山の外遊びゾーン

⑤ 山の外遊びゾーン

「日本一長い竹のコースターに挑戦」

全長100mの竹のコースターやわらで造った巨大なオブジェ、竹でつくられた遊具など、山の地形・環境を利用した子どもの育ちを支える山の外遊びが体験できます。



⑥ 海の外遊びゾーン

⑥ 海の外遊びゾーン

「日本一高いブランコに挑戦」

高さ約30mの巨大ブランコ、ビーチサッカー、広い砂浜での砂遊びなど海辺ならではの開放感あふれるアクティビティが満載。海辺の環境を利用したダイナミックな遊びが体験できます。

光るバルーンによる参加型イルミネーション「ナイトプログラム」もあり!



⑦ 2050年の森ゾーン

「森に遊び、森づくりを楽しむ」

2050年を目指し立派な森に育てる活動に参加できます。森の空間を活かした遊びを体験できます。

⑧ 海の大草原ゾーン

「日本一広い芝生広場を遊ぶ」

広い芝生広場でたこ揚げ大会やドローンレースなどのイベントを開催予定です。



④ 森のピクニックゾーン

「明日のピクニックライフを満喫」



湯田温泉 別湯

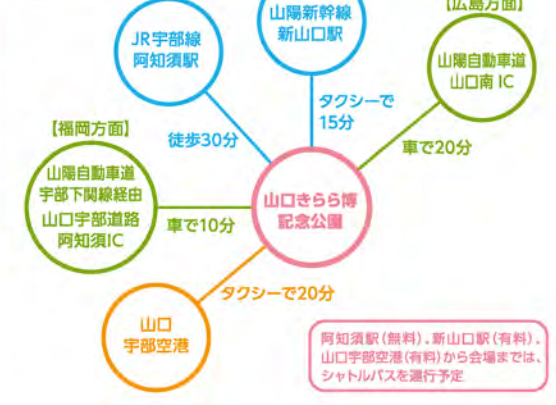
将来の公園の使い方・楽しみ方を体感し共有できるゾーン。県内19市町の名産&グルメが味わえるキッチンカーやステージイベントも楽しめます。

■入場料 (小学生未満は全て無料)

区分	一般入場券				全期間通用入場券	
	普通入場券 (前売券)	特別割引入場券 (70歳以上・障害者等)	団体割引 入場券	夜間割引 入場券	パスポート券 (前売券)	特別割引 パスポート券
大人	1,200円 (900円)	900円	900円	600円	3,000円 (2,400円)	2,400円
高校生	800円 (600円)	600円	600円	400円	2,000円 (1,600円)	1,600円
小・中学生	600円 (500円)	500円	500円	300円	1,500円 (1,200円)	1,200円

■お問い合わせ先 山口市都市整備課山口ゆめ花博推進室 ☎083-934-2832

■交通アクセス





□ □ □ □ □ □ □ □



URL <http://sight-yamaguchi.jp/>



山口県立図書館 / 「行程記」(上)「幕末山口市街図」(下)

このハガキで「彩都山口」プレゼントクイズにご応募いただけます。

郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、右のクイズの答え、アンケートの回答をご記入の上、お送りください。正解者の中から抽選で10名様に山口市の特産品の詰め合わせをプレゼントします。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

クイズの答え

「彩都山口」の感想をお寄せください。

皆様のご意見を今後の誌面づくりの参考にさせていただきます。

Q1 「彩都山口」をどこで入手されましたか?

- 1. 郵送で
- 2. 市役所や公民館等の公共施設で
- 3. 駅や観光案内所で
- 4. 道の駅や特産品販売所などで
- 5. ホテルや旅館等の宿泊施設で
- 6. 美容院や飲食店などのお店で
- 7. その他【具体的に: _____】

Q2 どの記事が面白かったですか?

- 1. 巻頭特集 絵図で読み解く明治維新の策源地・山口
- 2. 特集3 山口ゆかりの幕末の食
- 3. 特集5 アート維新! YCAM15周年
- 4. マンガで読む幕末エピソード
- 5. その他【具体的に: _____】

Q3 山口市のどんなところに興味がありますか?

- 1. 歴史
- 2. 自然
- 3. 芸術・文化
- 4. 温泉
- 5. グルメ
- 6. その他【具体的に: _____】

Q4 山口市の中でどこか訪ねてみたい所がありますか?

訪ねてみたい理由があれば、それも教えてください。

場所 [_____]
理由 [_____]

Q5 今後、どんなテーマの記事を読みたいですか?

[_____]



プレゼントクイズ

クイズ正解者の中から抽選で10名様に、山口市の特産品の詰め合わせをプレゼントします!! ふるってご応募ください。

Q 巻頭特集やまんがページに出てくる幕末の長州藩主の名前は?

- ① 毛利敬親
- ② 毛利元就
- ③ 毛利元徳



●応募方法

左の応募ハガキを切り離し、必要事項をご記入の上、お送りください。

●応募締切

- 第1次/平成30年9月30日(日)
- 第2次/平成31年1月31日(木) ※当日消印有効

【個人情報利用の目的】

ご応募いただいた際の個人情報は、誌面づくりの参考とプレゼント賞品の発送のみに使用致します。

webでも「彩都山口」

今お読みになっている「彩都山口」の閲覧をはじめ、山口市が誇る「モノ」「コト」「歴史」などを分かりやすく紹介しています。ぜひ、のぞいてみてくださいね!!



山口市への「ふるさと納税」のお申し込みも、web上で簡単に手続きできます!

山口市がもっと好きになる情報サイト
<http://sight-yamaguchi.jp/>



編集後記

山口市が誇るまちの彩り、モノ、人、味、自然などの「宝」を私たちなりの切り口でご紹介したいと2009年に創刊した「彩都山口」。この度めでたく創刊10号を迎えました。大幅増ページでお届けする今号のテーマは、明治維新150年。「策源地」というあまり耳慣れない言葉をキーワードに、長州藩の城下町でなかった山口がなぜ明治維新で大きな役割を担うことになったのか? そのヒミツを解き明かしながら維新にまつわるまちの「宝モノ」たちをご紹介します。歴史と温泉とアート...そこにどんな「彩り」があるのかはぜひ本編をお読みいただいて、山口市へ足をお運びいただければ、心よりお待ちしております。

発行/ 2018年3月
山口市総合政策部企画経営課
〒753-8650 山口市龜山町 2-1
tel.083-934-2746
<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>

Staff

制作統括 株式会社コア Writer 村上郁子
Editor in Chief 矢原玲子 Illustration やまでらわかな
Art Director 松本恵子 Photograph 安森信 杉本沙耶

取材協力

- ・山口県立山口博物館
- ・やまぐち歴史研究会
- ・山口県文書館
- ・株式会社サビエルカンパーナ
- ・山口市菜香亭

ふるさとやまぐち寄附金のご案内

みなさまのご厚意を **山口市の未来** へと役立てます。

「ふるさとやまぐち寄附金」にご協力いただいた方(5,000円以上)には、お礼の品として「ふるさとの便り」をお送りしています。

山口市自慢の農林水産品から銘菓、工芸品など270点以上の中から好きなものをお選びいただけます。

寄附金額 5千円以上のお礼の品



やまぐち外郎



黒毛和牛ハンバーグ



湯田温泉宿泊割引クーポン

寄附金額 1万円のお礼の品



活きあいおえび



やまぐち鮮魚セット



とらふくフルコースセット

寄附金額 5万円のお礼の品

寄附金額 6万円以上のお礼の品



ジーンズ「ジャパン」

オートマタ作品

寄附金額 20万円以上のお礼の品



阿知須和牛定期便コース

大都市圏の山口市提携のレストランで山口の食が味わえる「グルメポイント」サービスもあります。

詳しくは、コチラで
<https://gp.furunavi.jp/>

他にもたくさんあります。詳しくは、webまたは下記お問い合わせ先まで!!



大内人形のオーダーメイド「Ouchi夫婦」

※写真はイメージです

ふるさと納税とは

自分が生まれ育った、あるいは関わりが深い地域を応援したいという気持ちをカタチにする仕組みとして、地方公共団体(都道府県や市町村)に対して寄附を行った場合、2,000円を超える部分について、個人住民税や所得税から一定の限度まで全額控除される制度です。

寄附金の使い道を次の6つからお選びいただけます。

- ①文化・芸術・スポーツによる豊かな感性を育むまちづくり
- ②生き生きと働く産業力の豊かなまちづくり
- ③子育て支援の充実したまちづくり
- ④安心・安全・快適な住環境が整うまちづくり
- ⑤元気に歳を重ねる健康長寿のまちづくり
- ⑥まちづくり全体への支援

ふるさとやまぐち寄附金のお礼とご報告

平成28年度、山口市にいただいた寄附金は816,134,350円(29,007件)です。多くのご支援、温かいメッセージをありがとうございます。皆さまからいただいたご寄附は、今後のまちづくりに大切にさせていただきます。

お礼の品や申込方法など「ふるさとやまぐち寄附金」について、詳しくは「彩都山口」のホームページでご覧いただけます。

山口市民の皆様もお申込みできます。

<http://sight-yamaguchi.jp/donation/>

山口市ふるさと納税

検索



(お問い合わせ先) 山口市経済産業部ふるさと産業振興課

☎ 083-934-2941 fax.083-934-2650

E-mail info@sight-yamaguchi.jp

山口から開花する、未来への種まき。
 ~ 150年を振り返り、次の150年につなぐ ~



山口ゆめ花博

第35回全国都市緑化やまぐちフェア
 2018.9.14(金) - 11.4(日) 山口きらら博記念公園

明治維新
150年
記念



■主催：山口県、山口市、公益財団法人都市緑化機構
 ■入場料／大人1,200円(900円)、高校生800円(600円)、小・中学生600円(500円)
 ※()内は前売り。その他、夜間割引やパスポート等あり。
 詳しくはwebで。

ゆめ花博 検索

山口の幕末・明治維新が楽しく学べる 「十朋亭維新館」

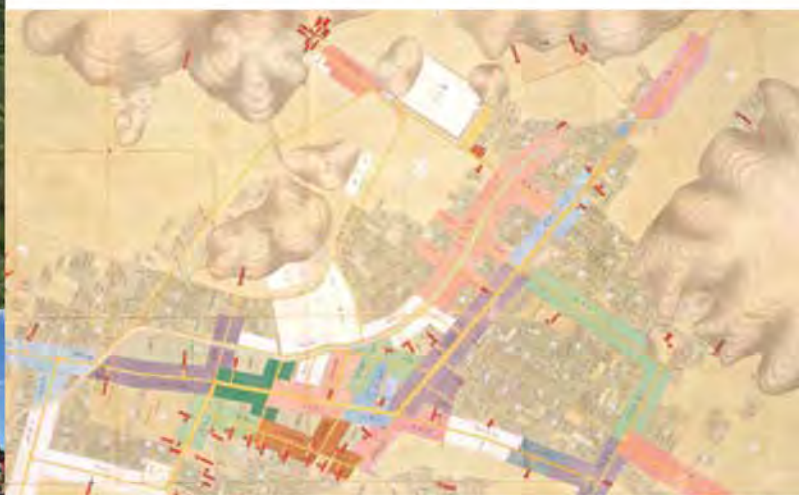
2018年9月29日(土)オープン

■山口市下笠小路112番地 ■9:00~17:00火曜休館
 ■展示室のみ有料／大人(高校生以上)200円、小・中学生100円
 [お問い合わせ先]
 山口市文化交流課(※施設オープン前まで)
 ☎083-934-2717



150th Anniversary The Meiji Restoration

Yamaguchi City



POST CARD



料金受取人払郵便

7 5 3 8 7 9 0

山口中央局
 承認
1048

差出有効期間
 平成31年
 3月31日
 切手不要

山口市亀山町2-1

総合政策部 企画経営課

「彩都山口vol.10」プレゼント係 行



必要事項をご記入ください

ふりがな				年齢	歳
お名前 (必須)				性別	男・女
ご住所 (必須)	〒	-			
TEL (必須)	()	-	FAX	()	-
ご職業					

※応募締切／●第1次／平成30年9月30日(日) 当日消印有効
 ●第2次／平成31年1月31日(木)